

第二十六回帝國議會 衆議院 關稅定率法改正法律案委員會會議錄(速記)第十一回

會議

明治四十三年二月二十八日午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

野田 卯太郎君 紫垣 一雄君 淺羽 靖君
千早 正次郎君 綾部 惣兵衛君 早速 整爾君
小川 平吉君 大久保弁太郎君 水間 此農夫君
太田 清藏君 翠川 鐵三君 武藤 金吉君
石橋 爲之助君 森田 勇次郎君 高橋 光威君
山本 悌二郎君 築山 和一君 鹿島 秀磨君
秋岡 義一君 千田 軍之助君 山田 又七君
井上 角五郎君 長島 鷺太郎君 箕浦 勝人君
村上 先君 川真田德三郎君 土三郎君
出席國務大臣左ノ如シ
外務大臣 伯爵小村壽太郎君
出席政府委員左ノ如シ

外務省通商局長 萩原 守一君 大藏省關稅局長 櫻井鐵太郎君
農商務省商務局長 大久保利武君 農商務省農務局長 下岡 忠治君
大藏書記官 野中 清君 農商務省參事官 岡 實君
海軍次官 財部 彪君 遞信省管船局長 內田 嘉吉君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

大藏技師 矢部規矩治君 大藏技師 早川 繁雄君
大藏技師 阪口武之助君 農商務技師 莊司市太郎君
農商務技師 大山清一郎君

關稅定率法改正法律案

○委員長(野田卯太郎君) 開會シマス、御報告ヲシマスガ輸入魚油及鯨油免稅ノ請願一通、海關稅定率法改正ノ請願一通、地租稅率ノ復舊及輸入米關稅定率改正ノ請願百四十一通、ソレカラ地租輕減及輸入米關稅定率改正ノ請願一通、是デケ衆議院ノ本會デ請願ガ可決シタヤウデゴザイマシテ此處ニ廻テ來マシタカラ御參考マデニ報告ヲシテ置キマス

○武藤金吉君 可決シタノデアリマスカ、參考ノタメニ採擇シテ廻シタノデアリマスカ

○委員長(野田卯太郎君) イヤ可決シテ衆議院議長カラ廻シテ來マシタカラサウ認メテ居リマス——ソレカラ阿波ノ藍トカ、何トカ人造藍ノコトニ付テ各所ノ組合ヨリ委員長ノ手許ニ二四十通ノ電信ガ來マシタケレドモ、是ハ諸君ノ手許ニ來テ居ラウト思ヒマスカラ、略シテ報告致シマセヌ

○大久保弁太郎君 チョット唯今ノ電報ノ件ニ付キマシテ申上ゲマスガ、各所ノ組合カラ電報ガ參ッタ御報告デゴザイマスガ、少シク其電報ハ運動者ノ計畫ニ出タコトデアリマスコトヲ私ガ聞込シテ居リマス、人造藍ヲ使フ者ガ種々ニ手ヲ廻シテ、電報ヲ廻シタト云フコトヲ耳ニ致シマシタカラ、チョット其事ヲ申シテ置キマス

○委員長(野田卯太郎君) 今日ノ質問ハ豫テ御約束ヲシテ置イタ通り、落チタトロヲ今日一日デ質問ヲ終結シタイト云フ希望デゴザイマス、ソレデ一類々々ト云フノモ却テ面倒デゴザイマセウカラ、一類ヨリ第十類マデヲ一括シテ議題トシマスカラ、其御積リデドウゾ……

○石橋爲之助君 政府委員ハモウ皆出揃ッテ居リマスカ

○委員長(野田卯太郎君) 農商務デケハ見エテ居リマス、農商務ニ關スル事柄ナラバ御聽キニナッテモ宜シウゴザイマス

○千田軍之助君 鐵ノ原料ハ少イト云フ御答辯デアッタヤウダ、ケレドモ段々他ノ方面デ聞クト、隨分朝鮮滿洲アタリカラモ原料ガアルト云フコトヲ聽キマシタガ、政府ハドウ云フ御調ニナッテデアリマスカ

○政府委員(大久保利武君) 御答致シマスガ、鐵ノ原料ニ付キマシテハ多年内外ヲ問ハズ調査シテ居リマスノデ、御承知ノ如ク唯今ハ若松製鐵所デ使用スル鐵ノ原料ハ、殆ド大部分ハ支那ノ大冶鑛山カラ來ル鐵ヲ、製鐵所デ製鐵ニシテソレヲ使用スルコトニナッテ居リマス、極ク小部分ハ内地ノ處々ニ散在シテ居ル鐵ヲ使ッテ居ル、又近年朝鮮ニ鐵鑛ヲ發見シテ夫等モ取寄セル計畫モ出來テ居リマス、デ御尋ノ要旨ハ内地ノ鐵鑛……

○千田軍之助君 イヤ内地デヤナイ、朝鮮及滿洲ニ付テ……

○政府委員(大久保利武君) 滿洲ノ方ハマダ十分調査シテ居リマセヌガ、併シ朝鮮ハ唯今申シタ通り將來餘程有望デアリマシテ、之ヲ我が政府デ將來ニ於テ原料トシテ供給スルデケノ計畫ヲ立テ、將來益々此コトハ發達スル見込デアリマス、極ク將來ニ有望ナコトニナッテ居リマス、ソレカラ支那ニハ大冶ハ勿論、其他ニモ相當ニアル見込デアリマスガ、併シマダ是ニハ手ヲ著ケテ居リマセヌ、要スルニ東洋ニ於ケル鐵ノ原料ハ相應ニアル見込ヲ付ケテ居リマシテ、將來モ鐵ノ原料ニ付テハ尙調査ヲ計畫モ立テタイ希望デアリマス、又内地ノ鐵鑛モ處々ニ散在シテ居リマシテ、必要ニ依ッテハ相應ニ取レルノデアリマス、内外ニ於テ將來モ尙計畫ヲ立テタイと思ヒマス

○築山和一君 私ハ蠶絲ノコトニ付テ御尋致シマス、承ルトコロニ依リマセバ、此統一ヲ計ルガタメニ各當業者ノ意見ヲ徵スルト云フヤウナコトモ承ッテ居リマスガ、日本ノ蠶絲ノ統一ヲ圖ラナケレバナラヌ必要ハドウ御認メニナッテ居ルカ、又此統一ヲ圖ルニハ蠶絲バカリ統一ヲ圖テ、蠶種ノ方ノ統一ノ方法ヲ御講ジニナラナクテモ、蠶絲デケテ統一ガ圖ラレルト云フ御見込デアリマスカ承リタイ

○政府委員(大久保利武君) 蠶絲ノ統一ニ付テノ御尋デアリマシタガ、詳シイコトハ

他ノ政府委員が申上テマセウガ、私ハ蠶絲ノ統一ト云フコトハ、貿易上如何ナル必要ヲ有シテ居ルカト云フコトヲ、チヨット御答致サウト思ヒマス、御承知ノ如ク生絲ハ近年産額ニ於テ品質ニ於テモ非常ニ進歩シテ居リマス、其輸出ハ一億万ニモ達シテ居リマシテ將來益々改良ヲ圖リ、輸出ノ増加ヲ圖ラナケレバナラヌ所デ日本ノ生絲ニ付テ貿易品トシテ海外ノ輸入國ノ側カラ申シマスルト、成程日本ノ生絲ハ頗ル織物ニ付テ必要原料ト今日ハナッテ居ルガ、マダナカク改良スベキ餘地カ澤山アルト申スノハ、ドウモ日本ノ生絲ハ品物が一定シナイ、澤山ノ一定シテ原料ヲ得ルコトニ付テハ、餘程困難ヲ感ゼテ居ル、例ヘバ亞米利加ニ於テ或一種ノ織物ヲ拵ヘルニ當ツテ、御承知ノ如ク米國ナドハ非常ニ需用ガ多イカラ、多額ノ織物ヲ拵ヘナケレバナラヌ、所デ一定シテ原料ヲ得ナイト出來上ラタ織物モヤハリ品質ガ區々ニナル、從ツテ商品トシテ市場ニ販路ヲ擴張シテ品位ヲ保ツ上ニ付テハ、ドウモ一定シテ原料ガ多量ニ得ラレナイノガ日本生絲ノ缺點デアル、伊太利ノ如キハ餘程品質ニ注意シテ居ルガ、品質ニ付テモ日本ノ生絲ハ伊太利ニ對シテ織物ニ仕上テ十分デナイ點ガアル、即チ品質ノ改良ト絲ノ種類ノ一定ト云フコトガ、貿易品トシテ必要ナコトデアル、例ヲ引イテ申シマス、昨年亞米利加ノ大機業家ガ一種ノ織物ヲ發明シテ廣ク賣出シテ、餘程大キナ機業家トシテ名ヲ知ラレ、尙亞米利加ノ絹業業者ノ會長トシテ「スキナ」ト云フ人ガ來テ、内地ノ製絲場ヲ視察シテ行キマシタガ、ドウモ區々ニナッテイカヌ、ソレデ亞米利加デハ將來絹織物ハ非常ニ需用ガアルカラ、一定シテ蠶絲ヲ拵ヘレバ、幾ラデモ買ツテ織物ニシタイ、ドウモ少シ餘計ニ絲ヲ買フト直グニ區々ニ分レテ織物ニシテモ品質ガ異ナルタメニ、其價高メテ行クコトガ困難デアルカラ、品質ヲ良クシテ品物ヲ拵ヘテ貫ハナケレバナラヌト云フ希望ヲ述ベテ居リマス、各製絲家モ大ニ此言ニ感ゼテ、蠶絲ノ改良ニ付テイロク、攻究シテ居ルノデス、從ツテ絲ノ統一改良ト云フコトガ起テ來タノデス、大略貿易品トシテ、商品トシテ絲ノ統一品質ノ改良ト云フコトカラ、蠶絲ノ統一ガ起ツテ來ルモノト考ヘマス

○築山和一君 支那カラ輸出シマスノモノナカク、多額デアリマスガ、支那ノ絲ノ評判ト日本ノ絲ノ評判トハドノ位ノ差ガアリマスカ

○政府委員(大久保利武君) 絲ノ價ハ亞米利加アタリニ於キマシテハ、ヤハリ伊太利トカニフトコロノ絲ハ、日本ノ絲ヨリモ價ガ好イ方デアリマス、日本ノ絲モモウ少シ品質ヲ良クシテ品物ヲ拵イノデスガ、先刻申上テマシタヤウナ缺點ガアリマスノデ、且伊太利ナドハ餘程品質ヲ拵ヘテ織物トシテハ如何ナル絲ガ適スルヤト云フコトヲ研究シテ造ツテ居リマスノデ、斯ウ云フ點ニ付テハ伊太利ナドニ比ベテハ、遺憾ナガラ日本ノ絲ハ下位ニナリマス、支那ノ絲ト日本ノ絲ヲ比ベマス、不統一ダトカ品物が惡イトカ云フコトニ付テハ、未ダ日本ノ方ガ上ニ居ルヤウニ信ジテ居リマス

○石橋爲之助君 農商務省ノ政府委員が見エマシタカラチヨット先達テ質問シマシタコトデアルノデスガ、尙モウ一ツ御尋シタイ、ソレハアノ電信柱ニ喰付イテ居ル核子デス

○野田卯太郎君 チヨット言ヒマセウ、十類マデ問題ニスルト宣告シテ置キマシタガ、全部ヲヤリマセウ、往々逸スルコトガアリマスカラ……

○石橋爲之助君 四百二十九ト六百五ニ關係シテ居リマス、ソレヲ先達テ質問致シマシタ「インスレーター」核子六百五ノ第十四號ニ入ルト云フ御尋デアッタデスガ、十四

號ニ入ルベキ核子ト云フノハ確カ金屬ノ附著シテ居ルモノデアッテ、單獨ニ陶器ノモノダケテ荷造リシテ來ル場合ニハ、陶磁器ノ四百二十九ノ方ニ入ルヤウナ御話ノヤウニ承知致シマシタガ、ソレデモウ少シ御尋シタイノデアリマス、同ジ物品デアルノニ少シバカリ其製作ノ程度ノ違フタメニ、兩方ニ分ケテ取扱フト云フコトハ、ドウ云フ趣意デアリマスカ、又殊ニ此六百五ノ十四ニ入レル方ハ金屬ノ附著シテ居ルノデスカラ、加工ノ程度ハ進シテ居ル筈、其加工ノ程度ノ進シテ居ル部分ガ從價ニ割デアッテ、サウシテ原料トモ云フベキ陶器ハカリノ部分ガ、ソレダケニ入テ來ルト陶磁器トシテ四割ヲ課スル、鈞合ガマルデ反對ニナッテ居ルカラ、サウ云フ區別ヲシテ御取扱ハ甚ダ當ラ得ヌヤウニ思フノデスガ、ソレハドウ云フ稅カラサウ云フ御取扱ニナルノデアリマスカ、之ヲドチラカ一ツニ極メテシマヒマスレバ、稅關ノ方モ面倒ガナクテ宜イシ、營業者モ面倒ヲ免レル譯デアル、餘リ高い低イノ話ニアラズシテ、同一ノ物品ガ兩方ニ解釋サレル場合ニ依ツテハ、ドチラニデモ違ツテ課スルヤウニナルト云フト、甚ダ紛雜ヲ來ス譯デアリマスカラ其邊ノ理由ヲ明カニシタイ、若シ政府ガ是ハ解釋ノ問題デアリマスカラ其解釋ニ依ツテ例ヘバ陶器製ノモノデアルケレドモ、用ユル道ハ一ツデアル「コップ」ニモナラヌケレバ裝飾ニモナラヌツマリ電氣ノ附屬品トナルニ相違ナイノデアルガ、其電氣ノ附屬品トシテ六百五ノ十四ノ中ヲ指シテ、ドウ云フ荷造リヲシテモ其中ニ入レルト云フコトニ極リマスレバ議論ハナイノデスガ、サウ云フ風ニ御解釋ハ出來ナイノデセウカ

○大藏技師(矢部規矩治君) 唯今ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、四百二十九ニ課稅致シマスところノ核子ハ、單獨ニ參リマスタメニ六百四ニ課稅致シマシタノハ、機械ノ部分品トナッテ入リマスノデアリマスノデ、趣旨ニ於テハ御質問ト少シモ違ハヌカト思ヒマス、機械ノ部分ヲ構成スル機械ノ重要ノ部分トシテ輸入サレル場合ニ、若シソレヲ解キ放スト機械ヲ構成サレナクナル、丁度帽子ヲ輸入サレマス時分ニ、帽子ノ「リボン」ヲ取ツテ「リボン」ニ課稅ヲシヤウト云フヤウナ說ニテラウカト考ヘマス、サウ致シマス帽子ト云フモノハ成立ナクナリマス、ソレデ率ノ權衡ガ二割ト云フ御話モアリマスガ、陶磁器トシテハ四割ガ適當デアル、機械トシテハ二割ガ適當トナッテ居リマス、若シソレガ課稅ヲ完全ニスル目的ヲ達スルガタメニ、機械ト云フモノヲ引キ放シテ四割ノ方ニ入レルナリマス、率ノ權衡ハ得マスガ機械ハ成立チマセヌ、機械部分ト云フ項ヲ加ヘテアリ、相當ノ價格ヲ以テ核子ノミ以上ノ價格ヲ以テ居ルカラシテ、二割ト云フコトハ差支ナカラウト思フ、尙實例ヲ舉ゲテ申シマス、此前ノ委員會ニ於キマシテモ例ヲ舉ゲマシタガ、鐵ト木デ出來テ居ルモノガ木製品ガ四割デアルカラ、木ノ部分ヲ取リ放シテ木製品ニ課稅セヨト云フコトニナリハセヌカト思ヒマス、サウスルト總テ課稅ヲスル場合ニハ、製品ト云フモノハ解キ放シタ部分デ課稅シロト云フコトニナリマス、サウ致シマス稅關ハ其煩ニ堪エマセヌノデ、課稅ヲスルニハ出來上ガッタモノハ出來上ガッタモノトシテ、引キ放シテ課稅ヲセヌ方ガ宜カラウト思ヒマス

○石橋爲之助君 サウスルトヤハリ政府ノ見ルトコロハ二ツニ分ケテ、違フ場合ニハ違ツタ取リ方ヲスルト云フヤウナ解釋ハ出來マセヌ、サウスルトドウ云フモノデ、ツマリ一方ハ四割一方ハ二割、工程ノ進シタモノニ安クスルト云フ理屈ハ何處ニ立チマスカ

○大藏技師(矢部規矩治君) ソレハ止ムヲ得マセヌノデ、例ヘバ此處ニ椅子ガゴザ

イマス、椅子、皮ノ部分ヲ解キ放シテ課税シロ、木ノ部分モ課税シロト云フコトニナリマ
スノデ、サウシマスト止ムヲ得マセヌガ、機械其物ハツマリ或製品ヨリモ率ガ安イノデ……
○石橋爲之助君 器具機械ノ原料ハ高イノデアリマスカ
○大藏技師(矢部規矩治君) 或物ニ付テハ高イモノ、アルノハ止ムヲ得ヌコト、考
ヘマス

○石橋爲之助君 サウ云フヤウニ固執セズシテ之ヲ解釋如何ニ依リマシテハ、ツマリ核
子ノ用途ト云フモノハ極ツテ居リマスカラ、陶器ト云ツテモ茶碗ニナルデハナシ「コツプ」ニナ
ルデハナシ、孟ニナルノデモナシ、モウ機械ノ部分品ト云フコトハ一目瞭然トシテ居リマスカ
ラ、其解釋ハ機械ト見做セバ見做スコトガ出來ルト云フヤウニ、其解釋ヲ固執セズシテ
正シイ方ニ御向ケ下サルコトハ出來マセヌカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 核子ノコトハ矢部技師カラ説明ヲ申上ゲマシタ、御覽
ノ通り機械ノ方ニ行キマスト、大抵二割乃至一割五分ニナツテ居リマス、是ハ外ノ製品
ニ比ベルト税率ノ權衡カラ——税率ノ高低カラ比ベルト逆ニナルノデス、一割五分ノ機
械ノ中ニハ二割五分ノ稅關ノカ、ルモノモ使シテ居リマス、サウ云フ點カラ云フト高低ノ
如キハ逆デス、併ナガラ機械ノ用途ガ機械ノ生産工業ニ必要ナリト云フ點カラ機械ヲ
外ノモノヨリ割合ヲ低メテアリマス、ソコカラ石橋君ノ御尋ノ起ルヤウナトコロト思ヒマス、
一方ハ四割一方ハ二割乃至一割五分ト、其點ハ止ムヲ得ヌ點アラウト思ヒマス、左様
御承知ヲ願ヒマス、ソレカラチヨット私ガ此委員會デ説明ヲ致シタ中ニ、計算ノコトヲ申
シマシタトキニ、數字ヲ落シマシタコトガアリマスカラ、茲ニ訂正致シテ置キマス、二月十
九日ノ委員會當時武藤君ノ柞蠶絲ニ付テノ御尋ニ對シテ答ヘタ、其答ノ末ノ方
ニ斯ウ云フコトヲ申シマシタ、製絲ノ工賃百八十三圓ト見テ云々「此計ガ四百三圓六
十五錢ニナルト申シマシタガ、屑絲ノ代ガ五十圓ノ諸ガ拔ケマシタ、ソレガタメニ私ノ申
シタ計算ガ合ハナカッタノデアリマシテ、是ハ間違ヲ起ストイケマセヌカラ茲ニ訂正致シテ
置キマス

○築山和一君 マダ計算ガ違ッテ居リマス、柞蠶絲ノ相場ハ其時ノ答辯デ百斤三百
六十一圓ト見テ、買付手數料ガ七圓二十錢、包裝費ガ二圓七十錢、輸出稅ガ三圓、
船積料ガ百斤五十錢、運賃ガ二圓五十錢、保險料ガ一圓五十錢、之ニ輸入稅三十
一圓ヲ加ヘテ四十九圓八十六錢、合計四百九圓四十錢ニナルヤウデアリマス、故ニ四
十六錢違ッテ居リマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 二錢三錢ト云フ端數ハ私ハ略シタノデス、絲ノ相場
ヲ三百六十一圓三十八錢ソレヲ三百六十一圓ト申シテ三十八錢ヲ捨テマシタ、ソレカ
ラ手數料二十三錢ヲ二十錢ト申シマシタ其差ガ出マシタ、要スルニ三百六十一圓ト絲
ノ相場ヲ見マシタノハ安キモノハ三百圓、高イモノニナルト四百二十二圓ト云フモノモア
リマスカラ、當業者ノ計算ニナツタノヲ見マシタ、或方ハ四百五十圓ト見ル方モアリ、或
方ハ三百四十圓ト見ル方モアリ兩極端ヲ取ツテ計算サレルノデス、ソレデハ中庸ヲ得ナイ
ト云フノデ三百六十一圓ト云フ中庸ヲ取ツテ勘定シマシタ

○築山和一君 其次ノ燃料ノ所デスガ、六十一圓二十錢ト云フ計算ガアリマスガ、是
ハ餘程高イヤウニ思ヒマスガ食料デモ入ッテ居ル譯デスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 今築山君ノ六十一圓ト云フコトハ、私ハ先日ノ説明
デハ中サナカッタト思ヒマスガ……

○築山和一君 燃料ガ一圓二十錢ヅ、ソレガ五十一把分、サウシマスト六十一圓二
十錢トナリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) サウデス

○築山和一君 ソレデハ高クナイデスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 此工賃ハ農商務省ノ側デ調べタ工賃カラ出シタノデ
私ノ方デヤツタノデアリマセヌ、サウシテ此製絲ノ工賃百八十三圓ト云フノハ製絲ノ工
費ヲ百八十九圓ト見テ居ル當業者モアリ、農商務省ノ調査ニ基イテ百八十三圓、稍
是ハ似タモノデアリマス

○綾部惣兵衛君 政府委員ニ計算上ノ相違ニ付テ聽イテ置キタイノデスガ、先日柞蠶
ノ説明ヲ爲サタトキノ計算違ハナイカト思ヒマス、繭ノ代ガ二百二十五圓、買付手
數料ガ四圓五十錢、荷造費ガ四圓五十錢、運賃ガ二十二圓五十錢、保險料ガ九十
錢、輸出稅ガ十一圓二十五錢、製絲工賃ガ百八十三圓、以上合計スルト此額ガ四
百五十一圓六十五錢ニナルヤウニ思ヒマスガ如何デス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 綾部君ガ御見エニナラヌトキデスガ、先刻訂正ヲ致シマ
シタ、二月十九日ニ私ノ答ニハ計算ノ數字ヲ落シマシタカラ、今ノ御問ノヤウナコトガ起
タノデス、斯ウ云フノデス、柞蠶繭ノ直段ガ二百二十五圓、手數料ガ四圓五十錢、
荷造料ガ四圓五十錢、運賃ガ二十二圓五十錢、保險料ガ九十錢、輸出稅ガ十一圓
二十五錢、製絲工賃ガ百八十三圓、ソレヲ合セマスト唯今御述ニナツタヤウニ四百五
十一圓トナリマス、ソコデ此計算ノ中ニハ製絲ノ屑絲ノ代ガ五十圓ト見テ云々「此計ガ四
百三圓六十五錢ニナルト申シマシタガ、屑絲ノ代ガ五十圓ノ諸ガ拔ケマシタ、ソレガタメニ私ノ申
シタ計算ガ合ハナカッタノデアリマシテ、是ハ間違ヲ起ストイケマセヌカラ茲ニ訂正致シテ
置キマス

○綾部惣兵衛君 先日ノ説明ニヨルト絲ノ方ガ四百九圓八十六錢デ、サウスルト先
ノ算盤デ行クト繭ヲ輸入シテ絲ニスルト四十一圓七十九錢ノ損ガ行ク、所ガ今五十圓
ノ違ヒガ出タカラ之ヲ差引クト四百一圓六十五錢ニナルカラ、丁度八圓ノ差ニナル八圓
キリ利益ガ無イ譯デスカ、是ハドウ云フ計算ニナリマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 是レハ普通ノ絲ヲ見タノデアリマスカラ、上等ノ絲ガ出
來ル程利益ガ多クナツテ來ル斯ウ云フコトニナリマス

○村上先君 三百三十七ノ「ホース」ト云フノデアリマス、統計年鑑ニ依ルト四十年
度ニ六十萬圓程入ッテ居リマス、是マデノ輸入ヲ平均致シマスト殆ド二十四萬圓餘アル
ガ、日本デ既ニ「ホース」ガ十五萬圓位ノモノガ出來ルト云フコトデゴザイマス、而シテ尙
大三發達ノ見込ガアルト云フコトデゴザイマス、政府ガ其邊ノ事柄ヲ認メテソレニ依ッテ
此關稅率ハ割出サレタノデアアルカドウカト云フコトヲ伺ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 「ホース」ノ輸入ハ綿製ノモノハ殆ド輸入ガアリマセヌ、
夫故ニ統計ノ平均ガ取レマセヌカラ一割トシテ置キマシタ、將來輸入ガ段々トアリマシ
テ、相當ナル平均價額ガ取レルヤウニナツタトキハ、適當ニ直スト云フノデアリマス、デ唯
今ノ御問ハ其他ニ屬スルモノデ、毎百斤十九圓二十錢デス、是ハ輸入ガアリマス、大藏

省ノ調ニ依リマスルト二十七年ニ七万六千圓、三十八年ニ六万八千圓、ソレカラ三十九年ニ八万九千圓アリマス、大體ソレナモデス、サウシテ其平均ヲ取リマスルト平均が百斤七十八圓乃至八十八圓トナリマス、大抵毎年差がアリマセヌ、其二割が約十九圓バカリニナリマス、ソレデハ内地北海道邊デモ製造シマス、又大阪デモヤッテ居ルノデアリマスガ、今日マデハ凡ソ一割五分見當ノ稅デアッタノヲ、今度ハ二割トシテ幾分其稅モ上ゲテゴザイマスカラ「ホース」ノ製造業者ハ現在ヨリモ幾分カヤリ好クナルデアラウ、又ヤリ好クナルヤウニシタガ宜カラウト云フ考ヲ持ッテ、此率ヲ按排シマシタ

○村上先君 唯今伺フト大變統計ガ違フノデスガ、私ノ方デ調ベマシタモノハ統計年鑑デアリマスガ、三十二年ニハ四十三萬圓、三十四年ニハ二十六萬圓、三十五年ニハ三十萬圓、三十六年ニハ二十二萬圓、ソレカラ三十七年ニ二十九萬圓、三十八年ニ三十四萬圓、三十九年ニ四十萬圓、四十年ニ四十一萬圓入ッテ居リマス、今政府委員ノ御答ハ餘リ少イヤウデスガ何カ根據ガアリマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 村上君ノ統計ハ何カラデスカ

○村上先君 統計年鑑デス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 統計年鑑デスカ、是ハ綿製ノ「ホース」デナク亞麻製ノ「ホース」デス——ソレデハ尙調ベテ見セウ

○川真田德三郎君 過日政府ガ御出シニナリマシタ藍ニ關スル參考書ノ内ニ、内國製藍累年比較表ト云フノガアリマシタガ、此調査ハ政府ハドウ云フ方法デ御調ニナリマシタカ、又三十九年、四十年、四十一年此三年ハ特ニ黑筋ヲ入レテ二ツニ分ケテ書イタルガ、何ニ依テハ區別シタノデゴザイマスカ、御調査ノ順序ト此區別ヲシタ理由トヲ伺ヒマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 失禮デスカチヨット聽漏ラセマシタガ

○川真田德三郎君 過日御廻ハシニナリマシタ藍ニ關スル參考書デス、此中ニ内國製藍累年比較表ト云フガアル、此調ハ如何ナル方法ニ依ッテ御調査ニナッタノデスカ、特ニ三十九年、四十年、四十一年ノ三箇年ニ對シテハ括弧シテ二ツニ分ケテアリマスガ、是ハ何レノ方面ノ製藍所、又ハ何レノ方面ト分ケタノデゴザイマスカ、其理由ヲ承リタイ

○大藏技師(矢部規矩治君) 唯今ノ御質問ノ内國製藍累年比較表ト云フノハ農商務統計ニ依リマシタ、ソレカラシマシテ三十九年以降ニ様ニ致シマシタノハ、此處ノ備考ニゴザイマス通り三十九年以後ハ其年ノ六月マデヲ一年ト見テ二回ニ調ベマシタノデス、是ハ農商務統計ヲ其儘茲ニ引キマシタノデゴザイマス

○川真田德三郎君 農商務統計ハ如何ナル方法ヲ以テ御調査ニナッタカ知リマセヌガ、此日本藍ニ付キマシテハ、一地方デ最も多額ノ產出ヲ致シマスルノハ德島縣デアアル、私共ハ其德島ノ方ヲ調査致シマシタ、明治十一年ヨリ明治四十一年マデ三十二年間ノ調査ヲ致シマシタ、此方面ニハ特ニ藍同業組合ト云フノガアリマシテ、サウシテ賣買ノ秩序又粗製濫造其他有ユル取締ヲ致シマシテサウシテ今日マデ經過致シタノデアリマス、其組合ニ於テハ現ニ私ノ唯今申シマシタ通り、明治十一年ヨリ四十一年マデノ調査ヲシテアリマス、其調ニ依ッテ見マスルト政府ノ調ト大ナル相違ガアルノデアリマス、現ニ三十九年ニ於テハ其製藍ノ出來マシタ代價ガ三百二十五万八千八百二十四圓、四十年ニ於

キマシテハ三百五十五万八千八百六十四圓、四十一年ニ於テハ三百三十八万四千四百三十三圓ト云フコトデアアル、デ此三十年間ノ統計ハ經濟上ノ狀態ニ連レテ賣買ノ高モ多少増減モアリマスケレドモ、大體ニ於テ最も多キ時ハ六十萬圓以上、斯ウ云フ譯ニナッテ居リマス、此調ハ前申シマス通りニ確實ナルモノデ、而モ近來農商務省ノ監督ノ下ニ立ッテ居ル所ノ同業組合ノ調査デアリマスガ故ニ、責任アル調査ト見ナケレバナリマセヌ、此調査ト此ノ如ク違ッテ居リマスノハ甚ダ本問題、即チ染料、顏料、塗料ト云フ内ノ藍ノ問題ヲ解決スル上ニ就テ至大ノ關係ヲ有スルコトデアアル、私ノ調査シタモノハ確カニ私ハ此通りニ相違ナイ、正シイ調デアアルト思ヒマスカラ、此參考書ヲ此調査委員諸君ニ私共持合セノモノヲ配付シタイト存ジマス、委員長御許シ下サイマスカ如何デゴザイマス

○委員長(野田卯太郎君) 宜シウゴザイマセウ

○高橋光威君 第十六類五百六十二ノ「二」ノ「ダイヤー」ニ割ノ課稅デ一圓トナッテ居リマスガ、是ハ元價ノ見積リガ廉キニ失シテ居ルト云フ說ガアルノデアリマスガ、政府ノ所見ハ如何デアリマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今高橋君ノ御尋ノ「ダイヤー」デアリマスガ、二割ヲ標準ニシマシテ一圓即チ平均價格ヲ五圓ト見タノデアリマス、之ニ就テハ其後唯今御問ヒノヤウナコトヲ聞キマシタノデ段々調査ヲシテ見タノデス、サウ致シマスルト云フト四十一年ノ輸入ノ平均價格ガ八圓餘ニナッテ居リマス、ソレカラ四十二年ノ一月カラ六月マデニ入ッタモノノ平均價格見マスルト四圓七十六錢、更ニ四十二年ノ十月マデノ平均價格見マスルト四圓八十五錢斯ウ云フ風ニナッテ出マシタ、ソコデドウシテ四十一年ト四十二年ト斯ウ云フ差ガアルカト云フコトヲ調ベテ見マシタ、如何ナルモノガ輸入シテ居ルカト云フコトヲ調ベテ見マシタトコロガ、此四十二年ニナッテ入リマシタ、廉イモノハ、獨逸製ノモノガ入ッタノデアリマス、四十二年ノ一月カラ六月マデノ平均價格取ッテ五圓近所ニ出ルシ、十月マデノ平均價格取ッテ五圓近所ニ出マシタカラ、是ナラバ平均ヲ得ルダラウト云フコトデ、五圓ト見テ二割ノ一圓ヲ出シマシタガ、更ニ考ヘテ見マスルト、其品物ハ普通品デナイノデアリマス、普通品ヨリ餘程惡イモノデアリマス、廉イモノデアッタト云フコトガ分ッテ參リマシタカラ、四十一年ノ平均八圓程ト云フモノト、此五圓トノ間ニ必ズ相當ナル平均ガアルダラウ、斯ウ思ヒマシタノデ其點ハ略々調ベモ致シマシタガ、必ズ此五圓ト八圓トノ間位ニ相當ナトコロノ價格ガアラウト思ヒマス、是ハ唯今ノ御質問ガ出マシタ以上ハ、是ハ適當ナ政府ハ修正ヲ加ヘラル、方ガ、他ト鈞合ヲ見マシテ相當デアラウト考ヘマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○早速整爾君 此三百五十四ノ帽子デアリマス、乙ノ「フェルト」製ノモノ帽子ノ稅率ハ七圓五十錢、ソレカラ其次ノ帽體形ヅクリタルモノ同ジク七圓五十錢「ロ」ノ其他ノ分ガ九十五錢トナッテ居リマス、是ハ大變不權衡デナイカト思フノデゴザイマス、帽體ハ形ヅクリタルモノデゴザイマシテモ、マダ本當ノ帽子ニ製造セラレ居ナイ緣ヲ取ッテゴザイマセズ、又「リボン」ヲ付ケテナシ革モ付ケテナシ、此帽體ハ帽子ニ製造スルマデニ餘程手間ガ要ルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ帽體トソレカラ仕上ゲタ帽子ト同ジヤウナ稅率ニナッテ居リマス、ソレカラモウ一ツ形ヅクリタルモノデナイ分ノ羊毛製ノモノモ其他ノモノモ、是ハ又前ニ比較スレバ廉クナッテ居ル、第一ニ此帽子ト帽體ノ間ガ同ジ稅率デアルト云フ

コトハ頗ル不權衡アルト思ヒマスカラ、アレヲ同率ニセラレタ理由ハ何故アルカ、ソレカラ同ジク帽體ノ中デモ此形アリタルモノト然ラザルモノトハ、ソレハ區別ガゴザイマスケレドモ、一ハ七圓五十錢一ハ九十五錢、餘リ此稅率ノ間ノ違ヒガ甚シヤウニ思フ、是ハドウ云フ御見込デスウ云フ風ニ立テラレタノアルカ、總體ニ於キマシテ餘リ不權衡ノヤウニ考ヘマスカラチヨット御尋ネ致シマス

○政府委員(野中清君) 此乙「フェルト」製ノモノノ中デ、乙ノ一ト乙ノ二トノ中ノ「イ」ト云フモノ、稅率ヲ一緒ニシマシタノハ、是ハ殊更ニ一緒ニシタノデアリマス、ソレハ何故一緒ニシタカト申シマスルト、是ハ御承知デラウト思ヒマスガ、形アリタルモノト申シマスルトモウ僅ニエヲ加ヘレバ直グニ帽子ニナル、此工程ニ於キマシテモ殆ド製品ニ達シテ居ル狀態ナモノデゴザイマス、ソレデ其側カラ申シマシテモ率ヲ同様ニシテモ宜シ、又一方カラ申シマスルト從來往々僅ニエヲ加ヘレバ帽子ニナルト云フ程度マデ造ッテ來テ、サウシテ是ハ帽體アルト云フノデ、非常ナ廉イ稅率ヲ受ケテ輸入サル、ト云フコトガ時ニアツタノデゴザイマス、是ハ稅關ニ於テモ隨分多年苦シ居ル、モウ僅ニ「リボン」カナシカチヨット卷ケバ直グニ出來上ツタ帽子ト同様ニナルノデゴザイマス、ソレヲ僅ニエヲ抜イテ帽體アルト稱シテ廉イ稅率ヲ受ケル、斯ウ云フ弊ガアツタノデアリマス、ソレヲ防イダ方ガ宜シ、即チ加工シナイト申シマシテモ殆ド製品ト同様、近イ程度ニ進ンデ居ルモノ一方カラ云フトサウ云フモノガアルカラ、是ハ同一ノ率ニシタ方ガ宜カラウト云フ考デ、是ハ殊更ニ同一ノ率ニシタノデアリマス、ソレカラ「ロ」ノ方ハ是ハ即チ原料品デ御覽ニナツタコトモアルデラウト存ジマスガ、極メテマダ粗造ノモノデアル、之ヲ帽子製造會社ナリ何ナリヘ持ッテ行ッテ、又數多ノエヲ加ヘテ製品ノ程度ニ進ムノデアリマス、是ハ相當ナ價格ヲ統計ニ依ッテ得マシテ、其價格カラ此從量稅率ヲ出シマシタ次第、此「ロ」ノ二ノ方ハ統計ヲ得ラレマセヌカラ、暫ク從價ニシテ置キマシタノデアリマス

○早速整爾君 サウシマスルト帽體ハヤハリ取締ノ上カラ殊更ニシタト云フ方ノ主義ニ承ッテ宜シヤウニ思ヒマスガ、私共ノ見込ニ依ルト、少シエヲ加ヘレバ直グ帽子ニナルト云フ御説デアリマスケレドモ、ヤハリ大分手間ガ要ルト思フ、サウシテ一方ニハ「リボン」ツレカラ滑革ヲ付ケテナイモノデアッテ縁等モ取ッテナイ、ソレデ帽子ノ形ヲ爲シタヤウデハゴザイマスケレドモ、之ヲ帽子ト同シヤウニ見ルコトハドウシテ出來ナイ、ソレヲ殊更ニ同ジ率トシタト云フコトニ帽體デ以テ輸入ヲシテ、帽子ト見界ガ著カナイトガ重ナ原因ニナッテ居ルノデナカラウト思フ、尙ウコソ確メタウゴザイマス

○政府委員(野中清君) 唯今申シマシタノハ必ズシモソレバカリガ目的デナイ、取締ノ點モ固ヨリ率ヲ一ツニシタ一ノ理由ニナッテ居リマスケレドモ、實物ニ就テ種々見本ヲ取集メテ研究ヲシマシタガ、糊ヲ十分施サウナ帽子ニナルト、製品ト未製品ト幾分か違ヒハアルヤウニ見分ケハ著ケレドモ、餘リ糊ヲ用井ナイ、此節市中ニ書生ナドガ冠ツテ居ルヤウナ糊ヲ施サナイモノニナルト、殆ド製品ニ近イ有様ノモノガアル、ソレハ殊更ニソレ位ノ程度マデ進メテ來ト思ハレル位ノモノデアル、ソレデ程度カラ云ッテモ殆ド製品ニ近イ有様アルカラ、斯ウ云フ風ニシタ譯デゴザイマス

○太田清藏君 私ハ百二十ニ一ノ礦油、即チ原油ニ付テ御尋ネシタイ、此原油ノコトニ付アハ今マデ些ットモ諸君カラ御質問モナカッタヤウニ考ヘマスガ、是ハ三十幾年カニ關

稅ヲ改正サレテ、其案ヲ其儘今度ノ改正案ニナッテ居ル、聊モ増減ガナイト思ヒマス、此原油ノ課稅ハ私ノ考ヘ非常ナル重稅ダト思フノデ、取モ直サズ禁止の税金デハナイカ、此ノ如キ賭易イコトニ付テ諸君カラ質問モ起ラヌト云フコトハ甚ダ意外ニ考ヘテ居リマスルガ、抑此ノ如キ重稅ヲ課シマスタメニハ、御承知ノ如ク先年南北石油會社ト云フモノハ、即チ無謀ニモ此關稅ヲ目的ニシテ此外國原油ヲ輸入シテ、ソレヲ精製スル目的ヲ以テ三百萬圓ノ會社ヲ創立シタ譯デアル、所ガ其等ノ竣工セザル前ニ其改正案ガ出タノデ、其時ハ隨分ヤカマシイ問題デアツタト私ハ局外カラ考ヘテ居リマスガ、ソレニモ拘ラズア此關稅ガ決定サレシタ結果、遂ニ其南北石油會社ナルモノハ全ク滅亡シテシマツテ、今日ハ已ムナク實田會社ニ買收シテ貫フツ云フコトニナツタ、此實田會社モ遂ニ此厄介物ノ原油精製所、即チ程ヶ谷ノ工場ヲ引受ケタノガ原因トナツテ、實田會社ハ以前ノ如クナク、今日ハ非常ナル悲境ノ場合ニ陷ッテ居ル譯デアル、是ガ單リ關稅ノ作用ニ依ッテ此ノ如ク日本ノ産業ニ著シキ影響ヲ來シタト云フコトハ、政府ニ於テモ略々御承知デアラウト考ヘル、デ此ノ如ク一旦起リ掛ツタ日本ノ産業ヲ滅亡サセテマデ内地ノ此石油業ヲ保護スルコト云フ、果シテ意思デアルカドウカ、果シテ又内地ノ産業、即チ内地ノ石油業者ヲ保護スルタメニ此重稅ヲ課スルト云フコトガ適當ナリト御認メナラバ、内地ノ此石油業ナルモノハ此ノ如キ保護ヲ與ヘレバドレ位マデ發達スルモノカト云フ政府ノ御見込ヲ御尋シタイ、私ノ考ヘルトコロハ、内地ノ石油業ナルモノハ如何ニ保護ヲ加ヘテモ或程度ヨリシカ發達ノ見込ハナイト云フコトヲ聞及シテ居ル、既往五箇年ノ統計ヲ見マシテモ、敢テ内地ノ石油業ノ出油高ト云フモノハサウ増シタト云フコトハナイノデアル、殊ニ此關稅政策ガ行ハレテ以來、決シテ増シテ居ラヌト考ヘマス、ソレデ考ヘマシテモ、此内地ノ石油業ナルモノハ人爲的保護ヲ加ヘテモ發達ノ程度ト云フモノハ凡ソ想像ノ出來ルコトデアラウト考ヘル、一方ニ外國ノ原料ヲ取入レテ、内地ノ産業ヲ新タニ計畫スルモノハ、此關稅政策ノタメニ潰ス、是ハ甚ダ關稅政策ノ大體ガ今日ノ趣意ニ於テ大ニ矛盾シタモノデハナイカト思フ、ソレニモ拘ラズ現行法ノ儘此提案ヲサレタト云フコトハ、甚ダ政府當局者ノ見込ガ違ッテハ居リマスマイカ、現ニ今日ノ實際ヲ申スト、御承知モゴザイマスガ知ラヌガ、外國ノ商人ト日本ノ石油業者ト云フモノハ遂ニ競争ノ結果壓倒サレマシテ、日本ノ需用高ノ三分ノ一ヲ日本商人ガ供給スル、三分ノ二ハ外國商人デ以テ日本需用ニ供給スルト云フ約束ノ下ニ、「ガロン」即チ一函ニ付テ二十六錢カ直段ヲ話合ノ上ゲタト云フコトデアリマス、一箇年ニ之ヲ打算シマスト云フト、一千萬函今日需用ガアルト見テ三百六十萬圓ト云フモノハ現ニ國民ニ高クシテ供給スルヤウナ結果ヲ見ルノデアル、サウシテ一方外國原料ヲ取入レテヤロウ、製造工業ヲシヤウト云フモノハ潰シテシマウ、極端ニ之ヲ私ガ考ヘテ見マスルトキハ、今日一千萬函ノ精製油ノ内二百五十萬函ハ内地デ出來ルモノトシテ、六百五十萬函ト云フモノハドウシテモ海外カラ仰ガネバナラヌモノデアル、又社會ノ進歩ト共ニ石油ノ事業ト云フモノハ年々歲々擴マリハスルトモ減ルコトハナイ、日本ノ製造採油ト云フモノハ決シテ日本ノ需用ノ進歩ト共ニ此採油量ヲ増スコトハ、到底既往ノ實蹟ニ於テ出來ルモノデヤナイト考ヘル、シテ見レバドウシテモ外國ノ原油ヲ入レネバナラヌ、假リニ六百五十萬函ノ今日ノ需用高ヲ外國カラ仰グトコロノ精製油ヲ、之ヲ原油デ外國カラ入レテ、廉イ原

油ヲ以テ日本へ入レテ、内外人ヲ問ハズ之ヲ日本精製スルコトニナリマスルト、第一運賃トシテモ今日外國船積シテ來ル、日本ニハ此原油ヲ輸送スルタメニ東洋汽船會社ハワレガタメニ「タンク」船ヲ拵エテ居ルノアル、其「タンク」船ハ已ムヲ得ズ此工業滅亡ノタメニ、空シク多額ノ金ヲ費シタコロノ船ハ其儘繫船シテ居ルト云フヤウナコトニナッテ居ル、此日本ノ船ヲ以テ運シテ來レバ、運賃タケテモ必ズ日本ノ商人ノ手ニ歸スルノアル、又之ニ加工スル工賃ニシテモ、日本ノ商人ノ手ニ歸スルモノナル、又ソレカラ生ズルトコロノ重油、其他總テノ副産物ハ日本最モ必要ナル品物デアッテ、其副産物ノ足ラナイタメニハ皆外國カラ輸入シテ居ル譯デアアル、精製油ヲ壓倒シ、其副産物ノ日本最モ必要ナル需用品モ其工業ガ盛ニナレバ必ズ日本テ出來ル、此ノ如キ有利ナ事業ヲ潰シテシマッテ、日本ノ石油業者ノタメカ知ラヌガ、之ヲ保護スルコト云フコトハ甚ダ間違ッテ居ル、丁度之ヲ極端ニ日本精製油ノ入ルノヲ、マルテ原油ヲ入レテ一ツモ精製油ヲ入レナイト云フマデ發達サセルト云フコトニナリマスレバ、必ズ九百萬圓ハ一箇年ニ金貨ノ流出ヲ防グ理由ノ一ツニナルガ、總テ綿ニセヨ、到底日本ノ内地ニ於テ原料ガ日本ノ需用ニ應ジラヌモノハ、已ムヲ得ズ海外ノ原料ヲ入レテ綿ニシテモ無稅テ入レテ、精製シテ其製絲ヲ外國ニ輸出スル位マデニ發達シタイノデアアル、此原油ニシテモ何ゾ此位ノ税金ヲ課シテ關稅ノ收入ヲ圖ラズトモ無稅テ入レテ、再ビ精製シテ海外ニ輸出スルト云フコトハ難イ事業デナイト思フ、之ヲ無稅トシテ日本精製セタカラト云ッテ其タメニ日本ノ石油業者ガ滅亡スルト云フ理由ハ少シモナイ、今日デモ二割以上ノ非常ナル多額ノ利益ヲ配當シテ居ル、此石油業者デアル、先ヅ今日ノ日本ノ事業トシテハ一割ノ利益ガアレバ十分デアアル、併ナガラ原油ヲ丸デ外國カラ入レテ精製シナイカラト云ッテ、決シテ今日ノ配當ガ半分ニ下ルト云フコトハナイト私ハ信ズル、是ハ政府ノ考ガ少シク間違ッテ居リハシマイカ、殊ニ此關稅改正ニ付テハ非常ニ鄭重ナル總テノ商業機關、其他ニ就テ諮問ヲサレテ種々ナ材料ヲ集メテ、鄭重ニ鄭重ヲ加ヘテ審査サレタモノト云フコトハ信ジテ居リマスルケレドモ——日本ノ全國ノ會議所ノ意見ナリ日本工業界ノ意見ナリ皆御採用ニナッテ居ルコトデモアルガ、單リ此理由ニ至ッテハ一般ノ意見ヲ政府ニ於テ一ツモ採用シテナイドウカ是ハ即チ原油ヲ入レテ製造スル事業ハ到底見込ガナイカラ、内地業者、即チ此内地ノ石油ト云フモノヲ保護スルタメニ、一方ハ潰レテモ構ヌカラ保護スルト云フ御趣意デアルカドウカト云フコトヲ質問致シマス

○政府委員 櫻井鐵太郎君 太田君ノ御問ニ御答致シマス要點ハ原油ヲ入レテ内地製造シ今日ヤルト云フコトヲ撲滅スルト云フ趣意デハナイ、此内地ノ石油業モ今日資本トシテ居ル額、ハ二千萬乃至四千萬ノ資本ノ石油業ニ投下サレテ居リマスカラ、是ハドウナツテモ宜イト云フ考ヘデハナイ、ツマリ三十九年頃ノ狀況ニ依リマスルト原油ノ輸入稅ハ從價ノ二割、石油ノ稅ハ約五割トナッテ居リマスカラ、兩者ノ間ノ權衡ヲ得テ居ラヌタメニ政府ハ一方カラ申シマスルト、石油ノ稅ト云フモノハナカク、大キイ數デアリマシテ、石油ノ關稅ガ三十九年ニハ五百七十萬圓、斯ウ云フ其大切ナ財原ニナッテ居ル石油ノ輸入ト云フモノガ全ク止ムヤウニナル、而シテ原油ノ二割ト云フモノガズンノ入ッテ來ル、之ヲ捨テ置ケバ原油ノ輸入稅ト石油稅ト、此間ノ權衡ヲ得ナイタメニ内地ノ産業ハツマリ成立タヌヤウニナル、サウスルトツレト同時ニ石油ノ例ヘバ財源ヲ

失フテシマウ、是ハ拾置ケヌト云フコトヲ改正案ヲ立案シタノデアリマス、ツレガ三十九年ニ政府ヨリ提案致シマシテ、議會ニ於テ十分ノ御審議ニナッテ、此現行ノ如キ改正案ニ修正サレテ、三十九年以來今日マデ行ハレテ居リマス、此案ニ依リマスルト原油ノ輸入稅ガ決シテサウ無闇ニ高イト云フコトデハナイノデアリマシテ、唯今太田君モ御説明ガアリマシタガ燈油——洋燈油ノ輸入稅ハ約五割ノ見當ニナッテ居リマス、十「ガロン」九十六錢、所デ原油ノ輸入ハ主タル目的ハ何カト云フト無論是カラ洋燈油ヲ取ッテ同時ニ機械油、燃料油、揮發油ト云フヤウナモノヲ製造スルノデアリマス、主タルモノハ洋燈油ヲ製造スルノデアリマス、故ニ此原料ノ稅率ヲ極メルノニ、原油ノ中ニ含ンデ居ル洋燈油ノ分量ニ比例シテ稅ヲ相當ニ取ツタラバ、石油ノ稅率ト鈞合ガ取レルヤウニナルダラウト云フ大體ノ考カラ此稅率ヲ按排致シマシタ、之ヲ御覽ニナリマスルト原油ノ百分ノ中ニ假リニ洋燈油ガ三十九、斯ウシマスルト九十六錢ニ三十九ヲ乘ジマスルト二十八錢何某ト云フモノガ出ル、此稅率ニハ三十九ヲ超ヘザルモノニハ十「ガロン」二十五錢ト云フ低イ稅ヲ掛ケテ居ル、必シモ百分ノ中カラ二十取レルモノニハ洋燈油ノ稅一杯ヲ掛ケテ居ラヌ、ツマリ樹膠ヲ加ヘテ原油ヲ外國カラ輸入シテ内地製造シテモ、又内地ノ石油業者ガ山カラ掘ッテ石油ヲ製造シテモ大抵對等ニ行ク斯ウ云フコトデ權衡ヲ取ッテ此稅率ヲ定メタノデアリマス、故ニ決シテ原油ノ輸入ヲ杜絶サセ、外國カラ入レテハ引合ハヌヤウニシテ、サウシテマデ内地ノ石油業ヲ保護スルト云フヤウナ考ハ持タヌノデ、雙方ガ相當ニ鈞合テ行クヤウニ、以前ノヤウニ一方ハ二割、一方ハ五割ニナッテ居リマシテハ、到底鈞合ヲ失ッテシマッテ、内地ノ石油業ハ成立チ得ヌト云フコトコロカラ權衡ヲ得ルヤウニ改正案ハヤッタノデアリマス、ツレデ此改正案ヲ實行致シマスタメニ、唯今御話ノ中ニ原油ヲ輸入シテ製造ヲヤルトコロノ會社ガ潰レルト云フ御話モアリマスガ、私共ノ見ルトコロデハ成程原油ヲ二割テ入レテ製造スルト云フ計算トハ、此稅率トハ異ヒガアリマスガ、稅ガ高クナツタ故ニ會社ハ計算ニ於テハ困難ヲ感シタラウト思ヒマスケレドモ、或會社ガ——石油會社ノ事業ガ困難ニ陥ツタト云フコトハ、是ハ此原油ノ稅率ノミニ歸スル譯デナイノデアリマシテ、是ハ外國カラ石油ヲ以テ來ルニ非常ニ困難ガアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、即チ外國デ石油ヲ製造シテ日本ニ賣込テ居ル、其石油業者ガ日本カラ船ヲヤッテ原油ヲ持テ來ヤウト云フ其手段ニ對シテ、有ル方法ヲ以テ之ニ商賣ノ關係上、イロ／＼ノ方法ヲ以テ不便ヲ與ヘテ居ルト云ウコトヲ聞イテ居リマス、自由ニ何處ヘデモ持ッテ往ッテ原油ガ安ク買ヘルト云フコトニナッテ居マス、サウ云フ一方ニハ關係ガアル、且其原油ハ御承知ノ通り餘リ値段ノ高イモノデナクテ、サウシテ嵩ノ大キイモノデアリマスカラナカク、運賃ニ掛ル、石油ヲ運搬シマスニ製造シタ石油ヲ運搬スルニハ、假リニ原油ノ百分ノ中三十九ヲ含ンデ居ルモノヲ運搬スルトシマス、容積カラ云フト原油ヲ運搬スルニ三倍ノ容積ノ油ヲ持ッテ往カナケレバナラヌ、非常ニ運賃ニ於テ困難ヲ感ズル、サウシテ政府ノ此案ヲ出シマスツキハ、原油ハ一噸幾ラテ運賃ガ幾ラ掛ル、橫濱ヘ來レバ大概普通ノ原油ハ幾ラ來ル、ツレバ製造スレバ「ランブ」油ガ幾ラ出來ル、ツレバ計算シテ此稅率ヲ引合ハヌト云フコトハナイ、原油ヲ「ランブ」油ニ製シ、其他ノモノヲ副産物ニ製造スレバ幾ラニナルト云フコトヲ計算シマス、此稅ノタメニ廢滅スル、此稅ノタメ到底起リ得ヌト云フコトハ無イト云フ、斯ウ云フ見据ヲ付ケテ此稅率ヲ作ツタノデ

アリマス、ツレガ今日ニ於テモ若シ不適當ニナリテ居リマスレバ改正案ヲ提出イタシマス、
鑛業協會ノ意見モ出テ居ルコトモ承知シテ、他所ノ側ノ意見モ聞ク、參考トシテ研究
シマシタガ、今日ノモノハ改正スル必要ガナイト考ヘマシテ、現行通リ提出シタ次第デ
アリマス、モウ一ツ太田君ノ御説ノ中ニアリマスガ、日本ノ石油ハ到底前途ダメト云
フ御説ノヤウデアリマスガ、是ハ御考ヘノ異フデアリマスカラ強テ申サヌデモ宜ウゴザイマス
ガ、内地ノ石油ノ産額モ年々殖エテ居リマス、サウ突然ニ殖エハ致シマセヌケレドモ、此
參考書ヲ御覽下サレバ分リマスガ年々殖ヘテ居ル、又今日ハ主タル產地ハ新潟デア
ルガ、今日ハ秋田縣デモ相當ナモノヲ發見シテ唯今ノトコロデハ頗ル有望デアルト聞イ
テ居リマス、又臺灣ニ於テモ油田試掘ヲヤッテ居ルト云フコトヲ聞キマスカラ、今日内地ノ
石油ノ產出が見込ナシ、減シテシマフト云フ見込ノモノデナカラウト私共考ヘテ居リマス、
併シ御承知ノ通り井戸ヲ掘ルニハ多額ノ費用ヲ要スルモノデアリマスカラ、サウナカク
急激ノ進歩ハシマイト思ヒマスケレドモ、年々ノ狀況ヲ見マス石油ハ決シテ惡クナイヤ
ウデアリマス、ツレカラ一千萬圓程ノ内地ノ需要ガアルニ内地ハ二分一位ヲ供給スルニ
過ギヌト云フ御説ハ今日ハ御説ノ通りデアリマス——今日ノ狀況デハソコデ内地石油
業者ハ外國ノモノト協定ヲシテ石油ノ産額ヲ殖スト云フコトニ盡力セズニ、石油ノ値ヲ
上ケルコトニ苦心シテ居ル傾向が見エテ、甚ダ不都合デアルト云フ御考デアルヤウデア
マスガ、私共聞イテ居リマスココデハ、成程外國ノ會社ト日本ノ會社トガ石油ノ價段
ニ付テ協定ヲシタト云フコトハ私共聞イテ居ル多少如何ナル事ヲ協定シタカト云フコトモ調
ベテ見マシタガ、先頃雙方ノ——外國ノ會社ト内地ノ石油會社ト競争シマシテ大分石油
ノ値ヲ下ゲタ、競争ノ結果互ニ競争ヲシテサウシテヤッタコトガツマリ雙方ガ競争ヲシテ安
クシタコトガ双方損デアルト云フコトデ、價段ノ協定ヲシタ、是ハ決シテ將來日本デハ、
モウ一千萬圓程ノ内地ノ二分一位ハ決シテ造ルコトハナイト云フ永久ノ契約ヲシタノ
デナイト云フヤウニ聞イテ居リマス、只徒ニ雙方ガ競争ヲシテ共ニ不利益ヲ得テ居ルノハ
宜シクナイト云フノデ、相當ノ話ヲ付ケタト云フデケアッテ、之ニ依テ日本デハ一千萬
ノ三分一以上ハ到底造ルコト出來ヌト云フコトニナッタデナイ、只一ノ價段ノ協定ヲ
シタニ過ギナイト云フコトニ聞イテ居リマス、要スルニ只今申上ゲマシタヤウナ風デ政府ノ
意見トシテハ、原油ヲ入レテ製造スルコトモ成立チ得ル、從ツテ内地ノ石油ノ製造業者
モ之ト供ニ斷行ケル、斯ウ云フ程度ヲ見極メテ石油ト石油ノ間ノ稅率ヲ相當ノ鈞合
ヲ取ルヤウニ極メタデアリマス、其程度ハ今日ノ稅率ガ相當デア、別ニ改正スル必
要ガナイト認メマシテ現法通り据ヘ置ク、斯ウ云フコトニ改正シタデアリマス

午後零時十八分休憩

午後一時三十六分開議

○委員長(野田卯太郎君) 開會シマス

○太田清藏君 私ハ午前ニ引續イテ石油ノコトニ付テ御尋致シマスガ、先刻政府委
員ノ御答デアルトコロハ、要スルニ、此精製油ト原油ト云フモノハ、相當ノ割合ヲ以テ課
稅シテアルノデ、決シテ原油製造業ヲ潰スト云フ意志デハナイ、内地ノ業務ヲ傍ラ保護
シ、相當ノトコロヲ以テ定メタモデアルカラ、決シテ無理デハナイト云フ御意見ニ外ナラヌト

思ヒマスガ、サウナルト云フトヤハリ此相當デアルカ不相當デアルカト云フコトハ、即チ原油
ヲ輸入シテ、サウシテ日本デ精製シテ是ガ幾ラニ付クカト云フコトヲ勘定ヲ此ニ持出サ
ナケレバナラヌコトニナリマスガ、是ハ政府ノ見込ト私ノ見込ト違フデラウト思ヒマス
ガ、私ノチヨット聞キ得タトコロニ依テ計算シタトコロヲ申スト、假ニ此原案ノ三十五ヲ超
ヘザルモノト云フト、四十ヲ超ヘザルモノト云フ間ノモノヲ、日本ニ輸入スルノガ多カラウ
ト思ヒマス、之ヲ以テ計算スルト大凡原油ノ價ヲ本國デ一噸十五圓ト云フ考ヲ以テ居
ル、ツレニ運賃ガ十五圓カ、ル、サウスルト運賃ト原油ノ價ガ三十圓ニナル、ツレニ對シ
テ油ハドレホド含シテ居ルカト云フト、其間ヲ取ツテ四十パーセントヲ含シテ居ルモノト見
テ、六割ハ滓デア、此ノ製造費ガ幾ラカ、ルカト云フト、一噸ニ四圓カカル、税金ハ十
圓五十錢カカル、之ヲ計算シマスト四十四圓五十六錢ト云フモノニナル、ツレニ對シテ
精油ガドレ程出來ルカト云フト二十七圓六錢、ツレハ今日ノ中味ノ相場ヲ二圓三十
錢容器ナドノ價ヲ見積ツテ二十七圓六錢、重油ノ代ハ六分ノ重油ガ出來マスカラ、原
油ヲ輸入シテ精製スルモノハ重油限リデ、重油ヲ又精製スルト云フコトハ、今日ハ方法
ヲ採ツテ居ラヌカラ此精製油ヨリ精製セヌモノト見做スト、重油ノ價凡ソ十八圓此重油
ノ價ガ十八圓ト、精製油ノ價ガ二十七圓六錢ト合セマスルト四十五圓六錢ト云フモノ
ニナル、サウスルト差引五十錢ノ一噸ニ付テ利益シカナイコトニナル、之ニ對シテ海外カ
ラ輸入スル製品ハ即チ良キモノガアルデアリマス、罐ト箱ト云フモノガ無ケレバ賣ルコ
トガ出來マセンカラ、之ニ對シテ一箱凡ソ七十錢掛ルノデアリマスカラ、其七十錢ヲ引キ
マスルト云フト二十錢差引缺點ガ立ツト云ウ勘定ニナラウト思ヒマス、サウ云フ勘定ニナ
リマスカラ、果シテ此ノ原案ガ之ヲ確定セラレモトスレバ、到底石油ヲ輸入シテ精製スル
ト云フ事業ハ、斷然ハ目的ガ合フモノデナイ、又ヤレ道理ハナイ、三十一ト云フトコ
ロニ當ルトスレバ、三十五ノ率ニ依リ計算セバナラヌ、即チ禁止ノ稅ガ私ハ考ヘル、ツ
レカラ此原案ガ甲二十錢ヲ超エザルモノ二十錢ヲ超エザルモノ、斯ウ段々階級ガ付ケ
テアリマスガ、政府當局者ノ御答デハ總テ此精製油ノ割合ヲ此含有分ニ投ジテ割掛ケ
タモノデアッテ、此精製油此原油ヲ含シテ居ル油分ニ對スル割合ヲ計算シタルモノデア
ト言ハレマスガ、成程三十一ヲ超エザルモノ丁度三十一ナラヌト云フトコロニ相當スレ
バ、政府委員ノ御話シ通りニナリマスケレドモ、是等ハ向カラ來ルモノデアッテ、此方カ
ラ三十ノ油分ヲ含シテ居ルモノトシテ決シテ是ハ輸入サレルモノデナイ、三十ト云フト
度適當ノトコロノモノガ來ルヤラ、四十ヲ超エザルモノガ來ルヤラ品物ガ來テ見ナケレバ分
ヌデアリマス、其時ノ檢査ノ結果三十二當ルカ三十五當ルカ分ラナイ、若シ假ニ喻
ヘテ之ヲ云ヒマスト二十ヲ超エザルモノガ三十一ノ油分ヲ含シテ居ルト云フ品物ガ來タキ
ハ、ドレニ行クカト云フニ、三十五ヲ超エザルモノハ二十五錢デ、三十五ノ方ニ持ッテ行
カナケレバナラヌ、即チ三十一ニ對スル三十五デア、四ノ損ヲスル、四ト云フモノハ凡
ソ三十五六錢ト云フモノガ精製油ヨリモ高イ稅ヲ課セナケレバナラヌト云フ結果ヲ見ル
デア、デ寧ろ精製油トナスモノヲ限ルト云フコトナラバ、甲乙丙丁戊ト云フ階級ヲ脱シテ
シマッテ、總テ一律一定ニ之ヲ掛ケルモノトスレバ「ガロン」三就デハ幾ラ掛ケルト云フヤウニ
シタ方ガ宜イカト思ヒマスガ、尙チヨット御尋シマスガ精製油ノ方ハ是中味、即チ油分
ハ對シテ稅ガ掛シテ居ルヤウニ思ヒマス、サウスルト箱ダケ無稅デ入ッテ來ルヤウナモノ、如

ク考ヘマスガ、果シテ其通りデアリマスカチヨツレダケヲ伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 原油ノ課税ヲ現行ノ通りニシタト云フ理由ハ前同申上デマシタカラ再ビソレヲ繰返シマセヌ、唯今ノ御尋ノ鑑入ノ石油ト同シク「ガロン」九十六錢ヲ掛ケタナラバ裸ノモノハ大變損デアル、斯ウ云フヤウニ不公平ニナルト云フ御問デアリマスガ其御説ハ吾々モ屢々聽イテ居ル問題デアリマス、亞米利加ノ石油ハ鑑入シテ來ル、其他ノ油ハ多クハ裸デ來ルツレガ不公平デアルト云フデアリマスガ、一律一定ハ不公平デアルト云フコトハ屢々聽イテ居ル論デアリマス、此二百斤九十六錢ト定メマシタノハ從來日本ニテス、數年間鑑入ノモノト裸ノ「バルク」油ト兩方來タモノヲ能ク見シテ、雙方ノ中間ヲ取ッテ九十六錢ト云フモノガ出來タノデアリマス、鑑入シタ油トツレカラ鑑入シタ油ハ雙方ノ中間ヲ取ッテ定メタノデアリマスカラ、必シモ一方ニ輕ク一方ニ重イト云フコトニハナラヌ考デアリマス、且ツ之ヲ一律ニ致シマシタノハ、課税ノ便利ヲ計ッテ斯ク定メタ譯デアリマス、要スルニ數年間ノ平均ヲ見テ相當ノ稅率ヲ定メタト云フニ過ギマセヌ、此階級ヲ澤山ニ分ケル原油ノコトデアリマスガ、之ヲ一律ニヤッタ宜カラウト云フ御説デアリマスガ、サウスルト却テ不公平デアリマス、此甲乙丙丁戊ニ分ケマシタノハ分類上ハ繁雜ノヤウニ見エマスガ、之ニ依テ各々斯ウ云フ風ニ成ベク近ク鈎合ヲ宜クスルト云フコトヲ苦心シテ、甲乙丙丁戊ト云フ差別ガ出來タ譯デアリマス、其事ダケヲ御答シテ置キマス

○山田又七君 私ハ質問デアリマスガ、唯私ハ當業者トシテ各位ノ御參考マデニ一應申上テ置キタイト思ヒマス、此原油ノ稅率ヲ低減或ハ無稅ト云フコトハ、手前ノ關係上下シテハ非常ニ希望スルトコロデアリマス、然レドモ國家ノ事業ト致シマシテハ己レ一ツノ會社ノタメニ働クト云フコトハ、甚ダ穩當ヲ缺クヤウナ次第デアリマス、是ハ隨分政府モ苦心サレタ結果デアリマスルシ、自分ハ一社ノ苦痛ハ感ジテモ、國家ノ事業ヲ誤ラズ、此政府案ヲ採ッテ戴クヨリ仕方ガナイ、若シ假ニ之ヲ無稅ニシマスルト云フト、當業者ニ非常ニ影響ヲ及ボス結果ニナルト云フコトハ明カデアリマス、ツレカラ尙此新潟縣ノ事業ハ別ニ政策ヲ執ッテモ發達スル餘地ハナイト云フヤウナ御意見モアツタカニ思ヒマスルガ、是ハ數字ノ示シテ居ルトコロデ、既ニ二十九年三十年ノ當時非常特別稅ヲ立デマシタ、是ガ即チ保護ノ意味ヲ含シテ居タ、ツレガタメニ事業モ非常ニ發達スルトハ數字ノ上ニ明カデアリマス、又此事業ノ利益ガ非常ニ多ク澤山ノ配當ヲシツ、アルデヤナイカト云フ御意見モアリマスルケレドモ、是ハ新事業或ハ他ノ人モ見ラレルニハ、常ニ冒險ト云フ意味ヲ含シテ居ル、成程冒險ニ違ヒナイ、何故ナラバ一萬二萬ヲ掛ケマシタコトガ誤ルトコトガアル、又烏有ニ歸スルコトガアル、是ガ利益ガ少ケレバツレニ投資スル人ガナイ、投資スル人ガナレバ自然其業ガ發達セヌト云フヤウナ傾キモアルノデアリマス、ツレカラ此外國ノモノト協定ヲ致シマシテ、或ハセナイ所ノ意味ヲ含シテ居ル、御話モゴザイマスケレドモ、是ハ昨年以來消費稅ヲ課セラレマシテ、其消費稅ノタメニ見越輸入ガ大分多ク來テ居ルノミナラズ、原油ヲ輸入シテ製品ヲ精ヘタ、是ガ新規ニ出來テ來タト云フタメニ大分巨額ノ數量ヲ需要ト供給ガ鈎合ハナイ結果、販路ノ競争ノ結果一箱十「ガロン」ノモノニ凡ソ六十五錢ノ下落ヲ生ジテ居ル、ノミナラズ搗テ加ヘテ二十錢ノ消費稅ヲ課セラレタ、シマスルト其消費稅ハ即チ消費者ガ負擔スルト云フ意味デアリマスガ、ヤハリ販賣人ガ安ク受買ラスルト云フ關係ニナツテ來ル、依テ非常ナ打撃ヲ蒙

ムル、ツレニ又販路ノ競争ヲスル場合ニモ餘リ物ヲ以テ競争ヲスルノテ底止スルトコロガナイ、依ッテ一時的ノ競争ヲ避クルタメニ數量ヲ極メヤウ、數量ヲ極メマスレバ此事業ガ或ハ制限サレヤウナ意味ヲ御有チニナル御方モアルカモ知レマセヌガ、サハナクテ地ヲ穿ツノデアリマスカラ、何時ドウ云フ坑井ガ生ジナイトモ言ハレマセヌ、其場合ニ或ハ數量ヲ極メテ居タ場合ニ何モ心配スルコトガ出來ナイト思ヒマスカラ約束ノ中ノ二十四時間内ニ通告致セバ、其約束ヲ何時モ解除スルコトノ出來得ルヤウニナツテ居リマス、シマスルト一晝夜ニ何モ其事業ノ上ニ繼續サレテ居ルノデヤナイ、ツレデ一時的ノ協定ヲシタヤウナ次第デアリマス、デ大體ノ上ニハ或ハ鯨油揮發油或ハ其他ノモノニモ、幾ラカ當業者トシテハ稅率ヲ改正シテ貴ヒタイト云フ意味ヲ有テ居リマス、ツレデ又註文ヲ致シマシタ場合ニハ又差支ヲ生セヌトモ云ハレマセヌカラ、當業者トシテハ唯沈黙ノ態度ヲ執ッテ此政府案ニ御同意ヲ願フ外ハナイ、斯ウ云フ考デアル次第デアリマス

○太田清藏君 尙チヨツト御尋ネ致シマスガ、先刻ノ御説明ニ依テ其點ハ稍分リマシタケレドモ、ヤハリ此用器ト云フモノハ稅ガ掛カテ居ラヌト云フコトハ平均テ現ハシタモノデアルト云フ御説明デ、用器ニハ稅ノ掛ッテ居ラヌト云フコトハヤハリ私ノ考通リデアルト思ヒマスカラ、其點ハ分リマシタガ、今山田君カラ參考シテ御話ニナツタコトデアッテ、即チ自分ノ關係上地方ノ事業ニ對シテノ御話ニナツタヤウニ心得テ居リマスガ、是ハ國家即チ國ノ關稅政策ノ上ニ於テ互ニ意見ヲ言ヒ、又御尋ラスルノデアリマスカラ即チ今山田君ノ御話ニ依ッテモ分ルト云フコトハ、此原油ガ到底今日ノ原案通りヲ以テ實行サルレバ、原油製造業ト云フモノハ到底出來ナイト云フコトハ山田君ノ御意見ニ依テモ分ルノデアリマス、尙更原油製造業ハ禁止シテ内地ノ石油業ヲ保護スルト云フニ外ナラヌノデアアル、又本國ニ於テ内地ノ産業ヲ保護スルト云フコトハ大體關稅政策ノ上ニ於テ私ハツレガ適當ダト心得テ居ル、然ルニ總テ此ノ海外ノ原料ヲ輸入シテ、日本デ製造スルモノニ對シテハ、無稅又ハ極ク低率ノ稅ヲ課シテアル、綿ニセヨ牛皮ニセヨ或ハ人造藍、此人造藍ハ原料デアリマスセヌケレドモ、總テ此海外ノ原料ヲ入レテ日本デ再ビ精製スルモノニ對シテハ無稅ト云フコト、及成タケ低率ノ稅ヲ課スルガ方針デアアル、獨リ原油ニ限ッテ斯ノ如キ稅、ツマリ本員ノ計算デハ到底利益ドコロノ騷デアナイ、原油ヲ入レテ日本デ製造スルハ必ズ損ガ行ク、或ハ無謀カハ知レマセヌケレドモ前ノ南北石油ト云フモノハ關稅目目的トシテ算盤ニ載セテ見デ、精製油ヲ入レテ日本ニ供給スルヨリモ、寧ろ原油ヲ入レテ日本デ製造シテ日本國民ニ割合ニ安イ所ノ品物ヲ供給シテ行ク以上ハ、國家ニ利益スルトコロハ非常ニ大ナルモノデアアル、ト云フコロカラ此生産業ヲ企テタノデ果シテツレガ意ノ如ク發達スレバ、必ズ海外カラ入ルトコロノ精製油ヲ壓倒シテ進デ海外ニ輸出スルコトモ決シテ難イコトデアナイト思フノデアアル、餘リ是ハ長クナリマスカラサウ申シテハ却テ他ノ迷惑ヲ來サスルコトデアリマスカラモウ長クハ申シマセヌガ、要スルニ是ハ餘リ内地産業ヲ保護スルト云フコトニノ厚クシテ、些ットモ此原料ヲ入レテ精製スルコトハ絕對ニ禁止スルト云フコトニ私ハ偏シ過ギテ居ルト思ヒマスカラ、是ハ相當ニ調査シタ以上、相當マデハ此案ヲ修正スルコトニ對シテ政府ハ御異議ハアルマイト思ヒマスルガ、其點ニ付テハ非常ニ固執サル、ヤニ考ヘルノデアリマス、ドウカ是ハ大體ノ關

稅政策ノ上ニ於テ又日本ノ大體ノ利害ニ於テ、或ハ其タメニ内地産業石油業者ハ幾分今日ヨリ利益ヲ減殺サル、眞ハアルカモ知レマセヌケレドモ、決シテ此關稅ニ於テ相當ナ修正ヲシテモ、内地ノ石油業者其タメニ滅亡スルコト云フコトハ決シテナイノデアル、又今日デモ如何ニ是ヲ保護ヲサレタト云ウテ、必ズ内地ノ産業ヲ發達シタト云フコトハ實際ノ統計ノ上ニ於テモサウ見ラレヌノデアル、相當ナ發達ハシテ居ルニ違ヒナイガ、又南北石油時代ニ於テ臺灣ナリ或ハ青森ナリ北海道ナリ、總テアラン限リ探掘ヲシテ出油ニ努メタノデアル、ケレドモ如何センドウモ目的ヲ達セナイ、ソレヲ見デモ今日ヨリ如何ニ之ニ保護ヲ加ヘタトコトガ發達ノ度ハ凡ソ、知レタモノデアル、斯ノ如キハ譬ヘテ言ヘバ馬鹿息子ヲ無茶苦茶ニ親ガ愛スルコト同ジモノデアル、寧ロ馬鹿息子ナラバ養子ヲシテソレニ適當ナ營業ヲサスレバ利益ヲ生ミ出スケレドモ、ヤハリ親ハ自分ノ產ンダ子ガ可愛ト云フ所カラ無茶苦茶ニ愛スルカラツマリ其身代ハ破産シテシマフト同ジコトデ、是ハ少シク原案タル即チ政府案ハ私ノ考デハ餘リ一方ニ偏シ過ギテハ居ラヌカト思ヒマス、ドウカ是ハ餘リ固執サレズシテ相當ナル所マデハ輕減ヲスルコトニ御同意ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、其意志ガアルカナイカト云フコトヲ伺ヒ置キマス

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 繰返シテ申サユデアリマスガ、是ハ三十九年ニ極メタモノデアルカラ唯其儘繼續スルコト云フノデ政府ガ案ヲ出シタノデハナイノデアリマシテ、太田君ノ仰セニナリマシタヤウナ説ハ屢々聞イテ居ルコトデ、其點ハ十分ニ考慮シタ上ニ發案致シタノデアリマスカラ、原案ガ適當デアルト政府ハ信ジテ居リマス

○委員(野田卯太郎君) チョット御報告ヲ致シマス、又澤山議長カラ願書ガ廻ッテ來マシタ、關稅法律案中外國藍稅率ニ關スル請願六通、關稅定率法改正法律案中飲食物ニ關スル請願一通、葡萄酒類關稅輸入稅ニ關スル請願一通、柞蠶絲輸入稅全廢ノ請願五通、關稅定率法改正法律ニ關スル請願五通、輸入綿絲關稅免除ノ請願一通、輸入米關稅改正ニ關スル請願四通、輸入米初關稅改正ニ關スル請願二通、種牛海關稅免除ノ請願一通、地租稅率復舊及輸入米關稅定率改正ノ請願五十四通、地租輕減及輸入米關稅定率改正ノ請願五十通、地租輕減穀物輸入稅增率ニ關スル請願一通、是ハマダ本會ノ可決ハ經テ居ラヌヤウデゴザイマスガ、議長ノ方カラ廻ッテ來マシタカラ、書類ハアレダケアリマスカラ御自由ニ御覽ニナランコトヲ希望致シマス

○村上先君 此五百六十ハ船舶ノコトニ付テ前回ニ於テ質問致シテ置キマシタガ、マダ要領ヲ得マセヌノデ、幸ニモ外務大臣並ニ海軍省ノ政府委員モ御出席デゴザイマスカラ質問ヲ致シマス、此質問ヲスル前提ト致シマシテ日本ノ四十一年度ノ現在ノ千噸以上ノ船ノ數ヲ見マス、貨物船ハ二百四十九隻、ソレカラ旅客船ハ八十八隻デアリマス、此中テ船齡ノ分ッテ居ルモノヲ調ベテ見マス、五年未滿ノモノガ二十八隻、五年以上十年未滿ノモノガ四十隻、十年以上十五年未滿ノモノガ四十八隻、ソレカラ十五年以上二十年未滿ノモノガ三十七隻、二十年以上二十五年未滿ノモノガ四十九隻、二十五年以上三十年未滿ノモノガ六十九隻ト云フヤウニナッテ居リマス、此現狀カラ見マス却テ老朽船、所謂政府委員ノ言フコロノ老朽船ト云フモノハ今日日本ニ於テ最モ利用サレテ居ル、ソレカラ更ニ此日露戰爭ノ際ニ御用船トナリマシタコロノ社外

船ノ數ヲ見マス、ト百七十四隻アリマス、其噸數ハ三十八萬七千噸、斯ウ云フ狀態デアリマスガ、此度ノ政府案ヲ見マス、殆ド國稅率ハ新シイ船ヲ歡迎スル方ノ關稅率デアッテ、此古イ船ニ對シテハ殆ド禁止ノ關稅ヲ取リマス、所ガ三十七八年ノ戰役ノ際ニ日本ハ入ッテ來マシタコロノ船ヲ見マス、俄ニ戰役ノ際ニ殖エテ居リマス、三十七年ニハ七十四隻、三十八年ニハ八十二隻、三十九年ニナッテ俄ニ減リマシテ二十隻ニナッテ居リマス、斯ウ云フコトデアリマスカラ、若シ現在ニ於テ最モ必要トスルコロノ古イ船ニ對シテ殆ド禁止ノ關稅ヲ課シマスコトニナリマスレバ、一朝有事ノ日ニ於テ陸海軍ハドウ云フ船ヲ利用シテ此運送ニ當ルカト云フコトハ、甚ダ疑問デアラウト思ヒマス、此點ニ付テ一ツ承リタイ、ソレカラ前日ニ於テ政府委員ニ川崎、三菱、一ツノ造船所ニ於テドレダケノ船ガ出來ルモノデアアルカト云フコトヲ伺ヒ置キマスガ、是ハマダ説明ガアリマセヌ、此内地ニ於テ四十一年度ニ於テ千噸以上ノ出來タ數ヲ見マス、僅カ九隻シカアリマセヌ、其噸數ハ六萬八千噸、斯ウ云フ狀態デアリマスカラ、一方ニ於テ米國カラ入リマシタ古イ船ニ對シテ禁止ノ關稅ヲ課シマス、殆ド日本ニ於テ船ノ需用ガ杜絕ヲシヤセヌカ、此二ノ點ニ付テ先ヅ伺ヒマス

○政府委員(内田嘉吉君) 唯今御質問ノゴザイマシタ船舶ノ輸入噸數ノコトニ付、遞信省ノ所管ニ屬スル事柄ヲ御答申シマス、唯今御尋ノ中日本デハドノ位船舶ガ製造サレルカト云フ點ニ付テ御答申シマス、是ハ統計ノ上ニ於キマシテ從來製造致シマシタ高ヲ見マス、ト六萬八千噸ト云フノガ一番大キナ數ニナッテ居リマス、即チ四十一年度ニ於キマシテ六萬八千噸ノ船ガ内地ニ於テ製造セラレタノデアリマス、此高ハマダ全國ニ於キマシテ製造シ得ル全體ノ高ヲ示シタモノデハゴザイマス、尙此上ニ力ヲ盡シテ製造致シマスレバ餘計ノ噸數ガ出來ルコトハ明カデアリマス

○山本悌二郎君 ソレハドレダケゴザイマス

○政府委員(内田嘉吉君) 先ヅ主務省ニ於キマシテ見込ヲ立テ、居リマスノガ約十萬噸ト云フ計算デアリマス、是ハ御承知ノ通り需要供給ノ關係カラ參リマスノデ、需用ガ増加致シマスレバ此噸數ハ設備ノ如何ニ依テソレ以上ニモ増加スルノデアリマスガ、今日ノ狀況カラ計算シテ見マス、ト先ヅ十萬噸位ノ噸數ハ製造シ得ルノデアリマス、要スルニ需用ガ増加致シマスカ否ヤト云フコトハ、外國カラ參リマス船ノ多少ニ依リマシテ、日本デ造船ノ高ガ少ナイト云フノデハナクシテ、寧ロ外國カラ入リマスタメニ日本ノ造船業ト云フモノハソレダケ其仕事ヲ減ジテ居ルト云フ狀況デアリマスカラ、其點ヲ申述ベテ置キマス

○山本悌二郎君 チョット御尋致シマスガ六萬八千噸ト云フノハ八千噸以上ノモノハカリデスカ、千噸未滿ノモノモ含シテ居ルノデスカ

○政府委員(内田嘉吉君) 是ハ千噸以上ノモノモ千噸未滿ノモノモ兩方包含シテ居リマス

○村上先君 スルト千噸以上ノモノガ六萬八千噸デスカ……

○政府委員(内田嘉吉君) 六萬八千噸ト云フノハ總體デアリマシテ、細カイモノハ唯今茲ニ持合ガゴザイマセヌカラ……

○村上先君 ソレカラ日本デ出來ルノハ多ク客船ヲ運送船ハ餘リ出來ナイヤウデアアル、一例ヲ申セバ櫻丸ノヤウナ不經濟ノモノガ出來ルガ、ソレハドウデアリマスガ、要スルニ運送

船ハ僅カテ多クハ客船ガ出來ルカト云フデアリマス

○政府委員(内田嘉吉君) 御答申シマス、此造船ハ設備ニ依リマシテ運送船モ旅客船モ何レモ日本ノ造船所ニ於テ出來マス、就中旅客船ノ方ヲ製造致シマスニハ種々ノ設備ヲ要スルケレドモ、貨物船ヲ製造スルニハ比較的簡單ノ設備デ出來マスノデ、日本ノ造船所ニ於テハ、旅客船ノ高等ナルモノマデモ出來ルデアリマスカラ、從テ貨物船ノ製造ハ決シテ困難デアリマセヌデス

○村上先君 困難トカ困難デナイト云フコトハ分リマシタ、現ニヤリツ、アルモノガ殆ント客船デ、從來ハ客船ノミヲ造ル方針ノヤウニ聞イテ居ツタ、政府ガ造船ノ獎勵ヲナスニモヤハリサウ云フ方針デアルカ、ソレカラ十萬噸出來ルト云ハ在來ノ輸入船ヲ防グコトガ出來ルカドウカソレヲ伺ヒマス

○政府委員(内田嘉吉君) 唯今申シマシタノハ日本ノ造船所ニ於テ貨物船ヲ製造シ得ルト云フコトハ困難デナイト云フ意味ニ於テ申シタノデ、要スルニ從來貨物船モ造ラテ居ルシ、又旅客船モ造ラテ居ル、是ハ註文等ノ如何ニ依テ其當時出來マス船ノ種類ガ異ナルデアリマス、從來デモ將來デモ貨物船ノ註文ガアレバ、日本ノ造船所ニ於テ拵ヘルコトガ出來ルデアリマス、ソレカラ從來ノ輸入ノ噸數ハ年ニ依テイロクノ相違ガゴザリマスガ、三十七八年戰後ノ場合ハ特別シテ除キ、輸入船ノ一番多イ時三十二年以來ノ統計ヲ持テ居リマスガ、一番多イノ三萬三千噸、ソレカラ三萬二千噸デアリマス、是ハ内國製造シヤウトスレバ決シテ困難デナイトデアリマス

○高橋光威君 此定率表ニ依リマス貨物船ト旅客船トハ同率デ何レモ每噸十五圓トナッテ居ルガ、然ルニ旅客船ハ價ガ高クシテ貨物船ハ比較的安イ、其間ニ開キガ餘程アル、ソレヲ同一二十五圓トシテ價ノ安キ貨物船ハ價ノ高キ旅客船ニ比シテ、比較的高稅ヲ拂ハザルヲ得ナイト云フ形ニナルガ、此二種ノタメニ區別スルコトハイカヌデアリマスカ、是ハ負擔ノ均衡上、又貨物船ハ内地ニ於テ出來ルニ相違ナイガ、強チ外國ノ船ヲ本邦ノ船籍ニ屬セシムル必要モ陸海軍ノ關係トカ、其他ノ關係カラモアルヤウニ聞イテ居ルガ、要スルニ價ノ高キモノト安イモノト同一ノ稅率ヲ課スルノハ穩當ナラザルモノヤウニ私共ハ認メルガ、是ハ別ツ譯ニ行カヌモノデアリマスカ、大藏當局者ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員(内田嘉吉君) 高橋君ノ御尋ネニ對シテ私カラ御答ヲ致シマス、關稅ノ調査スル場合ニ唯今ノ御説ノ如キハ篤ト致究ヲ致シタデアリマス、御話ノ如ク此貨物船ト旅客船トノ間ニ價格ノ相違ハアルガ、寧ロ實際ハ此二ツヨリハ、旅客船ト旅客船トノ間ニ於テ著シイ相違ガアルデアリマス、一噸ニ付百五十圓ノモアレバ、二百圓、四百圓ト云フノモアル、旅客船ト貨物船トノ差ヨリモ此方ノ差ガ著シイデアリマス、併ナガラ關稅ヲ定メルニハ高イ旅客船ヲ標準ニ取ルト云フコトハ、是ハ一般ノ船ニ向ヒマシテ困難ノ結果ヲ惹起スガ故ニ、貨物船ヲ標準ニシテ定率ヲ定メ次第デアリマス、又實際上貨物船ト旅客船トノ區別スルハ甚ダ困難ナ事情ガアリマス、御承知ノ通り何ヲ旅客船ト云ヒ、何ヲ貨物船ト云フカ、即チ旅客ノ數ヲ以テ區別スルデアッテ、英吉利ノ規則、又日本ノ現行法デモ此旅客十二人以上ヲ搭載スル船ヲ旅客船ト云フノデ、日本ニ輸入スル船ニハ旅客ヲ搭載シナイ船モアルガ、多數ハ十二人以上ノ旅客ヲ載セル設備ヲ有シテ

居ルモノガ輸入サレテ居ル、又一面ニハ旅客船ト貨物船ヲ區別スルコトハ輸入當時ノ狀況ニ依ルノデ、多クハ輸入後ニ設備ヲ變ヘテ貨物船トシテ輸入シタモノヲ旅客船ニ直シ、又旅客船トシテ輸入シタモノヲ貨物船ト云フモノニ直スノデ、此區別上カラ云フト實際ニ貨物船ト旅客船ヲ分ケルコトハ困難デアリマス、左様ナ次第カラ貨物船ヲ標準ニシタ方ガ宜シイト云フコトデ此通りニ致シタ次第デアリマス

○高橋光威君 ソレハ了解致シマシタ、サウ云フ違ヒナレバ何故ニ從價主義ヲ取ラズ、從量主義ヲ取ツタデアルカ、一噸百五十圓ノモアレバ四五百圓ノモアル、ソレニ對シテ何故ニ二十五圓ト云フ同一ノモノヲ課スルデアルカ、若シ斯ウナルト比較的高キモノヲ獎勵スル結果ニ陷リハシナイカ、安イモノハ重稅ヲ負擔シ、高イモノハ輕イ稅ヲ負擔スルト云フ譯デ、其結果甚ダシイ不公平ニ陷リハスマイカ、是ガ每噸十五圓ト一率ノ從量主義ヲ執ラレタ所以ヲ伺ヒタイデアリマス、而シテ若シ其不公平、不均一ト云フコトガ激シイト云フコトヲ認メラレタナラバ、是ハ正シキ道ニ復スルノ御考ハ無イデアリマセウカト云フコトヲ伺ヒテ、尙序ニ機械カ又ハ帆ヲ以テ運航スルモノ、即チ帆前船モ蒸汽船モ同一ニ每噸十五圓トセラレタノハ是亦甚シキ不公平ニナリハシナイカト思フデアリマス、帆前船ノ如キハ比較的ニ廉ク出來ルデアリマス、機械力ヲ以テ運航スルモノハ比較的高ク出來ルデアリマスガ、ソレニモ拘ラズ每噸十五圓ト一率ニセラレタノハドウ云フ次第デアリマセウカ、殊ニ帆前船ト云フモノハ漸次衰ヘル形デアリマスケレドモ、併シ此沿海貿易、沿海運航ナドト云フモノハ帆前船モ亦決シテ排斥スベキモノデナク、世界ノ船舶ノ統計表ナドヲ見マス時隨分帆前船ト云フモノガ多イデアリマス、俄カニ衰頹ハシナイノデ、或年ノ如キハ増加シテ居ル年モ隨分アルデアリマス、運賃ガ廉イタメニ帆前船ノ需用ガ隨分多イデアリマス、而シテ帆前船ト機械力ヲ以テ運航スルモノト共ニ之ヲ每噸十五圓ト一率ニセラレタト云フノハ不公平ヲ免レナイト思フデアリマス、是ハドウ云フ御説デ斯様ニセラレタデアリマスカ

○秋岡義一君 高橋君ノト一緒ニ伺ヒタイ、先刻一箇年ニ輸入スル船ノ噸數ガ二萬噸デアル、ソレハ三十七八年ノ戰役中ノ如キ多クノ船ヲ輸入シタ場合ハ平均ニ入レナイサウデアルト云フコトヲ言ハレマシタガ、之ヲ平均ニ入レナイト云フコトハ甚ダ不思議デアルト思フ、何故トナレバ其時分ニ船ガ多ク這入ッテ居ルカラ致シテ、戰争後ニ輸入シタ船ガ自ラ少クナッテ居ル、故ニ是等ノモノハドウシテ平均ニ入レルノガ當然デアルト思ヒマスガ、若シソレヲ平均ニ入レマスレバ一箇年ニ輸入スル噸數ハドレタケデアルカ、其事ヲ伺ヒタイ

○政府委員(内田嘉吉君) 高橋君並ニ秋岡君ノ御尋ニ御答ヘ申上ゲマス、第一ノ御尋ハ旅客船等ニ付テ價ガ著シイ相違ガアル、然ルニ孰レモ每噸十五圓ト云フコトニ定メタノハ不相當デハナイカ、斯ウ云フ御尋ノヤウニ伺ヒマシタ、先程申上ゲマシタヤウニ、旅客船ニ付キマシテハ著シイ相違ガゴザリマス、併ナガラ貨物船ニ付キマシテハ大體ニ於キマシテ餘リ相違ガナイデアリマス、ソレデ從來ノ平均等ヲ算出致シマシテ、日本ニ輸入致シマシタ船舶等ノ從來ノ數年ノ平均ヲ取リマシテ、サウシテ計數ヲ出シタノデゴザイマスカラシテ、大體カラ申上ゲマシテ此貨物船ト旅客船ト付キマシテハ著シイ不公平ナコトハ無イト云フコトヲ考ヘテ居リマス、固ヨリ先程申上ゲマシタヤウナ二百圓トカ四百圓ト

カ云フ高い船舶ニナリマス、是ハ特殊ノ航路ニ使用致シマスルモノデゴザイマスカラシテ、概ネ航海獎勵法、若クハ遠洋航路補助法ノ下ニ航海致スモノデアラウト考ヘマス、ソレ等ハ輸入致シマセズシテ、寧ロ内地ノ造船所ニ於テ製造スルコトニナルコト、考ヘマス、第二ノ御尋ノ帆船汽船ヲ製造費ノ違フニ拘ラズ是亦一噸十五圓トシタノハ、不相當デハナイカト云フ御意見デゴザイマスガ、是モ亦船ニ依リマシテ價格ノ相違ガゴザイマス、併ナガラ概シテ申シマスレバ、帆船汽船ハ汽船ヨリモ一噸ノ割合カラ申シマスレバ、無論廉イモノデアラウト云フコトハ疑ハナカラウト思ヒマス、併ナガラ此帆船汽船果シテ日本ニ輸入サレテ居ルカ否ト云フコトヲ調ベテ見マス、是ハ近年ニ於キマシテ帆船汽船ノ輸入ハ殆ド無イト申上ケテモ差支ナイノデアリマス、是等ハ皆日本製製造スルモノデゴザイマスカラシテ、此點ハ從來通り措キマシテ、強テ不都合ハナイト云フコトニ吾々ハ認メタノデゴザイマス、第三ノ秋岡君ノ御尋ハ明治三十七八年ノ噸數モヤハリ勘定ニ入レタラドウカト云フ御意見デゴザイマスガ、先程申上ゲマシタノハ平均デハゴザイマセズ、三十七八年ヲ除キマシタ外ノ年ノ一番餘計外國船ヲ輸入シタ年ノ噸數ガ三萬三千噸デアルト云フコトヲ申上ケタノデゴザイマス

○秋岡義一君 三十七八年ハ幾ラデアリマスカ

○政府委員(内田嘉吉君) 三十七八年ノ噸數ハ三十七年ニ輸入致シマシタノガ十七萬噸、三十八年ニ輸入致シマシタノガ十二萬噸

○高橋光威君 先刻ノ御説明ニ依ッテ、旅客船ト貨物船トノ價ガ違フト云フコトヲ言ハレタガ、成程違フデアリマセウ、而シテ又是ガ旅客船デアルカ、貨物船デアルカト云フコトノ區別ガ判然シナイ 判然スルモノモアリマセウシ、判然シナイモノモアルト思フ、或ハ汽車ニシテモ、客車ト混合列車ト云フヤウナ譯デ、混合船ノアルコトヲ知ッテ居ル、知ッテ居リマスガ、旅客船ノ方ハ概シテ貨物船ヨリハ高イ、貨物船ハ價ガ少イト云フコトヲ既ニ認メラレタ以上ハ、旅客船ニ於テ平均價格ヲ取ッテ、每噸幾ラ、貨物船ニ付テ平均價格ヲ取ッテ、每噸幾ラト云フコトヲ區別セラルナラバ、從量稅トシテ差支ナカラウト思フ、然ルニ大體ニ於テ旅客ハ高イモノデアアル、貨物船ハ廉イモノデアルト云フコトガ極ッテ居ナガラ、從量稅トシテ每噸十五圓一率ニセラレタト云フモノハ、第一法律制定ノ主義トシテモ甚ダ不完全デハナイカ知ラヌト私ハ思フノデアリマス、既ニ政府ガ左様ニ認メラレタ以上ハ宜シク二ツニ別ケタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、何等カ特殊ノ之ヲ解釋シ得ル理由ガアルナラバ同ッテ置キタイ、而シテ從價ニシレバ如何ナル差支ガアルカト云フコトヲ……

○政府委員(内田嘉吉君) 唯今高橋君ノ御尋ニナリマシタ第一ノ點ハ、前ニ御答致シマシタトコロト同シ事ヲ繰返ス譯デスガ、尙簡單ニ申上ゲマスガ、旅客船ト貨物船トハ其極端ヲ申シマス云フト相違ガゴザイマス、併ナガラ或程度ニ於キマシテハ旅客船ト貨物船トノ間ニサウ區別ガ無イノデアリマス、極端ニ區別ノコザイマストコロハ寧ロ外國カラ輸入ハ致シマセヌデ、内地ニ於テ製造スルモノガ事實ニ於テ多イト云フコトヲ申上ゲタノデゴザイマス、ソレデ此貨物船ト旅客船ト云フモノ、區別ノ標準ヲ定メマスニ餘程困難デ、實際ノ取扱上ニ於キマシテ甚ダ困難ヲ感シマスル次第デ、丁度旅客船ト貨物船ト兩方ニ通シテ貨物船ヲ標準トシテ差支ノナイトコロノ率ヲ茲ニ計算致シタノデアリマス、ソレカラ第二ニ從價稅ニシテハドウカト云フコトヲデゴザイマスガ、是ハ此度成案トシテ調査ヲサレ

マシタ此關稅定率法ニ於キマシテハ、成ベクタケ此重量稅ト云フモノヲ採用スルト云フコトノ趣意デゴザイマス、此船舶ノ如キモノモヤハリ重量稅ヲ置ク方ガ宜イ、從價稅ヨリモ其實際ニ於テ便利ナモノト考ヘマスノデゴザイマス、其結果ハドウナルカト云フト、ツマリ其真イ船舶ノ輸入致シマスニ付キマシテ便利ヲ受ケル、其代リニ惡イ船舶ノ輸入ヲ致シ、廉イ船舶ノ輸入スル場合合、幾ラカ高クナル結果トシテ、此傾キヲ生ズルコトデアラウト考ヘマス

○秋岡義一君 從來從價稅デアッタモノヲ從量稅ニ改メニ付テハ、從來從價稅ノ場合ニ於テ價格ノ評定等ニ付テ餘程何カ困難ナ事情デモアッテ、ソレガタメニ此度從量ニサレタノデアリマセウカ、今マデモ從價時分ニモ適切ニ徵稅ガサレタッタノデアルカ、此點ヲ參考マデニ伺ヒタイ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今秋岡君ノ御問デアリマスガ、船舶ノ輸入ニ付テハ從來從價稅デアッテ、課稅價格ヲ評定スルニ付テハ餘程困難ヲ感シテ居ッタノデアリマス、時ニ於テハドウモヒドイ廉イヤウデ、或ハ本當ノ賣買ノ價格ハナイノデハナイカト思フ位ノ申告スル者ニ際會シタコトハ往々ニシテアッタノデ、サウカト云ッテ廉イト思フガ、ソレナラバ幾ラガ適當ナル價格デアルト云フヤウナ評定ヲスルコトガ、是亦稅關ニ於テハ普通ノ事務トシテハナカク困難ナコトデアリマス、唯今他ノ政府委員ガ説明致シマシタヤウニ、貨物船ト客船トニ通シテ、所謂平準ヲ得タ從量稅ヲ定ムレバ誠ニ是ハ輕便デアル、斯ウ云フ事カラ段々調査ヲ致シマシタ末ニ、總噸數一噸ヲ標準ニシテ掛ケル、斯ウ云フコトニシタガ宜シイト云フコトニ決定シタ譯デアリマス、從價稅ノ稅率ノ取扱ヒ等ニ不便ガアッタト云フコトハ實際當局者ノ常ニ感ジタコトデアリマス、此點ヲ御答申上ケテ置キマス

○山本悌二郎君 私ハ此御尋ニ致シタイノハ、第一ニ船舶ノ補充ノコトニ付テ、當業者ノ方カラシテ廻ッテ私ノ手許へ來テ居リマスルトコロノ書類ニ依ッテ見マスルト、今日ノ我邦ノ千噸以上ノ汽船大部分ハ老齡ニ屬シテ居ルモノガ多イノデ、チヨット此調ニ依ッテ見マスルト、全體二百八十二艘バカリノ千噸以上ノ汽船ノアルトコロ二十箇年以上ノ船齡ノモノガ二百三艘、十箇年以下ノモノガ七十九艘ト云フヤウナ割合ニナッテ居ルヤウデスガ、中ニ二十年以上モ經ツタモノモ大分アルヤウニ見エマスガ、此割合ヲ以テ往キマスルト云フト、年々天災ニ依ッテ破損スルモノヲ除キマシテモ、自然ノ年齡ノ結果トシテ廢船ニ屬スベキモノガ澤山ニ出テ來ルダラウト思ヒマス、假リニ日本ノ海運等ト云フモノガ今日ノ現在數ヲ以テ之ヲ充タシテ居ルモノデアルトシマスルト、此年々破損シテ往キマスルトコロノモノハ年々補充シテ往カナケレバナラヌト云フ勘定ニナル、其點ニ付テハ凡ソ年々ドレダケ補充シテ往カナケレバナラヌト云フ政府ニ御見込ガアリマスガ、之ヲ一ツ伺ヒタイノデス、ソレカラ唯今高橋君其他ノ質問ニ對シテ政府委員ノ御答デハ、貨物船ト旅客船ト云フモノヲ二ツニ別ケテ課稅ヲスルト云フコトハ到底ムヅカシイト云フ御話デゴザイマスガ、所ガ之ヲ假リニ何モ區別セズシテ、今日ノ原案ノマ、デヤリマススト云フコトニシマス、貨物船ノ古イ、中古ノ船ナドト云フモノハ非常ナ重イ負擔ヲスルト云フコトニナルヤウナ計算ガ當局者ノ方カラ廻ッテ居リマスノデ、ソレニ依リマスルト、凡此十年モ經ツタ、即チ千九百年製ノ船ハ一噸ニ付テ其價ハ四十圓乃至五十圓デアアル、之ニ對シテ今日ノ提案サレテ居ル稅率ヲ以テ關稅ヲ計算スルト、其關稅ハ三割乃至四割

ニ相當スル、又千八百九十年製、即チ二十年モ經タ船ノ價ト云フモノハ一噸二十
五圓乃至三十圓ノモノナル、之ニ對シテ新關稅ヲ課スルト云フコトニナリマス、六
割乃至六割五分ノ課稅ニナル、斯ウ云フヤウナ算盤が出テ居リマスガ、假リニ是ニ一
割ニ割位ノ掛値ガアルモノト見マシテモ大變重イ稅ニナルヤウニ本員共ハ考ヘルノデアリ
マス、斯ウ致シマスト十年以上ノ貨物船ト云フモノハ絕對ニ輸入ヲ禁止スルト同ジ結果
ヲ來シハセヌカト思ハレマス、此點ニ付テハ政府ハ果シテサウ云フ結果デアルト云フ
コトヲ御認メデアルヤ否ヤ、若サウ云フコトヲ御認メナラバ、今度ノ關稅ノ趣意ト云フ
モノハ、此ノ如キ十年以上ノ船ハ絕對ニ輸入ヲ禁ズル積リデアルカ、禁ジテモ毫モ日本
ノ海運業ニ差支ナイト云フ御見込デアルヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ、ト云フハ段々聞
トコロニ依リマス、此大貨物ヲ運送スルニハ成ベク廉イ船ヲ使ッテ往カナケレバナラス、
成ベク外國航海業者トノ競争ノ上ニ於テハ尙更其必要ガアルト云フコトデアル、サウ致シ
マスルト、斯ノ如キ高イ關稅ニ依ッテ外國ノ廉イ中古ノ船ノ輸入ヲ杜絶スルト云フコトニ
ナリマスレバ、其結果ハ即チ日本ノ海運業ノ競争ノ上ニ大ナル影響ヲ及ボシハシナイカト
考ヘル、故ニ果シテ禁止ノ考ヲ以テ此稅率ヲ設定サレテ居ルヤ否ヤ、又禁止ノナラバ
禁止シテモ一向日本ノ海運業ニ差支ナイト云フ御見込デアルカ、之ヲ一ツ伺ヒタイ、第
三ニハ若シ旅客船ト貨物船ト云フモノヲ區別スルコトが出来ナイト云フコトヲ申サレマシ
タガ、セメテハ船ノ年齡ニ依ッテ之ヲ區別スル方法ハナイカ、之ヲ伺ヒタイ

○政府委員(内田嘉吉君) 唯今ノ御尋ニ御答ヲ申シマス、第一ノ御尋ハ現在日本
ニアリマス船ガ大部老齡ナモノガ多イ、是等ハ漸次廢棄セラレテ往クノデアルカラシテ、之ニ
向ッテ補充ヲスル 必要ハナカラウカ、斯ウ云フ御尋ノヤウデアリマス、此日本ノ船舶ガ比
較的老齡ノモノ、多イト云フコトハ御話ノ通りデゴザイマス、是ハ誠ニ海運ノ實際ノ上
カラ申シマスルト云フト甚ダ嘆ハシイコト、考ヘマス、海運ト致シマシテハ成ベク新式ノ
成ルベク時勢ニ適シタ船舶ノ多カラシコトヲ希望致スノデゴザイマス、當局者トシテハ誠
ニ其年齡ノ新ラシイ船ノ多カラシコトヲ希望シテ居リマスガ、從來ハ此新ラシイ船モ、古
イ船モ同様ノ關稅ヲ課シテ居リマシタ結果カラシテ、ドウシテモ値ノ廉イ船ヲ輸入スルト
云フ傾キニ相成リマシタノデ、是ハ實際ノ海運ノ上カラ申シマスルト、寧ろ損ノ多イ有様
ニ立到テ居ルノデゴザイマス、此ノ如キ狀態ハ成ベク早ク改善ヲ致シタイト考ヘテ居リ
マス、而シテ此船ガ年齡ヲ段々加ヘマスルニ從ッテ、補充ヲシナケレバナラスノデゴザイマス
ガ、是ハ既往ノ實例ニ依ッテドノ位年々解決サレテ往クモノデアラウカト云フコトヲ申シ
マスレバ、大體ニ於キマシテ其補充ヲシヤツトスル數ガ御分リニナラウト思ヒマス、其數ハ
三十二年カラ四十二年マデ十箇年ノ統計ニ依ッテ見マスルト、汽船ニ付キマシテハ多イ
年ガ四千八百噸、帆船ガヤハリ多イ年ガ五千噸、最モ多イノハ六千三百噸、是ガ一
番多イデアリマス、先ヅ汽、帆船ヲ通ジマシテ一箇年ニ一萬噸前後ノトコロガ先ヅ平
均解決サレテ行ク事實デアラウト思ヒマス、之ヲ先程申上ゲマシタヤウニ、日本ニ於
キマシテ之ヲ補充シテ行キマスルコトハ造船所ノ力トシテハ決シテ困難ナコトデハナイノデ
アリマス、ソレカラ第二ノ御尋ハ貨物船ノ負擔ガ重イデハナイカ、要スルニ中古其他ノ比
較的古イ船ニナルト價ガ安イ、其安イ船ニ向ッテハ今度ノ改正率ト云フモノハ酷デハナ
カラウカ、斯ウ云フ御意見ノヤウデゴザイマス、此點モ十分調査ヲ致シマシテ、今日ノ關

稅カラ相當デアラウト云フコトヲ攻究ヲ致シタノデゴザイマス、此點ニ付キマシテハ先程申
上ゲマシタヤウニ、既往ノ日本ハ入りマシタ船ガドノ位ノ價格デアアルカト云フコトヲ調査ヲ
致シテ見マシタ、サウ致シマスルト云フコト、先ヅ三十年カラ四十一年マデノ平均ニ依ッテ見マ
スルト云フコト、其價格ガ九十六圓八十錢ト云フコトニナッテ居リマス、尙是ハイロ／＼ナ時
代ガゴザイマスカラシテ、其時代先ヅ最近ノ事實ニ依ッテ調べ見ルトドノ位デアアルカト云フ
ト、是ハ丁度百七圓五十錢——最近二箇年度ノモノデア見マスルト百七圓五十錢バカリニ
ナッテ居リマス、當時ノ稅率ガ從價稅一割デゴザイマスカラシテ、其一割ヲ取リマシテモ百七
圓、極ク長イ計算ヲ取ッテ見マスルト云フコト、九十六圓デアリマスカラ、其割ガ九圓六十錢
位ニシカナリマセヌ、此度ノ稅率ヲ悉ク御覽ヲ戴キマスルト、他ノ部分ニ於キマシテモヤハリ
相當ニ他ノ部分ノ關稅ノ額ガ從來ヨリモ増加シテ居リマス、其權衡カラ見マスルト、
例ヘバ船ノ部分品ノ如キモノハ、ヤハリ二割五分ト云フ割合ニナッテ居リマス、之ヲ假リ
ニソレト同ジ率デ以テ行キマスルト二割五分デゴザイマスカラ、十圓ナラバ二十五圓位ノ
平均ニナリマス、是デハ日本ノ船舶業者ガ船舶ヲ買入レマスルニ大分負擔ニ堪エヌ
コトニナリハセヌカ、ソレデ既往ノ成績ヲ考ヘマシテ、特ニ船舶ニ付キマシテハ其割合
ヲ低メテ十五圓ト云フコトニ致シタノデアリマスカラシテ、御懸念ノゴザイマスル如
ク著シイ困難ヲ感ズルヤウナコトハナカラウト考ヘルノデアリマス、ソレカラ第二ノ御尋
ハ、旅客船ト貨物船ト區別ガ困難ナラバ、船齡ニ就テ區別ヲ設ケテハドウカ、此船
齡ノ區別ト申シマスルモノ一ノ攻究スベキ點デハゴザイマスルガ、是ハドウ云フ風ニ設ケル
カ、若シ船舶ノ若イモノ、即チ船ノ新ラシイモノニ向ッテ廉イ稅ヲ課シ、古イモノニ
向ッテ高イ稅ヲ課スルト云フコトデアレバ原案ト決シテ違ヒガナイノデゴザイマス、反對ニ
船ノ古イモノニ向ッテ少ナイ稅ヲ掛ケル、新ラシイモノニ向ッテ高イ稅ヲ掛ケルト云フコト
ハ、是ハ日本ノ海運ヲ聊ナリトモ改良シテ行キタイト云フ上カラ申シマスルト、無論ソレ
ハ穩當デハナカラウト考ヘマス、要スルニ原案ニ於キマシテハソレ等ノ點ヲ參酌致シマシテ相
當ナトコロデアルト云フコトヲ認メタ次第デゴザイマス

○山本悌二郎君 サウ致シマスルト、ツマリ政府取テ中古ノ船ヲ絕對ニ禁止スル方針
デハナイガ、今日ノ關稅ヲ決シテ輸入ハ杜絶スルト云フヤウナ困難ナ次第デハナイ、斯
ウ云フマア御話ニ歸著スルヤウニ承リマスガ、所ガ三十年乃至四十年ノ平均ガ九十六圓
八十錢、最近二箇年ノ平均ガ百七圓五十錢ト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ凡テ突キ
括メテノ御計算アラウト思フ、所ガ十箇年以上トカ十五箇年以上トカ云フコトニナリ
マス、或ハモットズット平均ガ低クナッテ來ヤセヌカト思ヒマス、然ル二十年、十五年位ノ
船齡ノ船ハ私共ハ門外漢デアリマスケレドモ、聞クトコロニ依ルト、貨物船トシテハ値
段ノ程度ヤ其他ノ所カラ最モ使ヒ頃デアルト云フ話デアル、サウ致シマスルト、最モ使ヒ
頃ノ船ヲ輸入スル場合ニ、ヤハリ今日ノ稅率ハ非常ニ重イモノニ過ギヤセヌカト思ヒマス
ガ、其年齡別ト、モウ一ツ船價ノ御見込ヲ伺ヒタイ

○政府委員(内田嘉吉君) 唯今ノ御尋ハ年齡別ニ致シマシテ船ヲドウ云フ風ニ分ケ
ヤウト云フ御意見デゴザイマス、古イ船ヲ値ヲ安クシヤウト云フ……

○山本悌二郎君 私ノ御尋致スノハ九十六圓八十錢ト百七圓五十錢ハ、總テ輸入
シテ來タトコロノ平均價格デゴザイマス、其中ニハ若イ新ラシイ船ガ入ッテ居ル、其結果

トシテ全體ノ平均ノ數が高クナッテ居リハセヌカト思フ、ソレデ十年ノ船ノ平均ガ幾ラ、十五年ノ船ノ平均ガ幾ラ、二十年ノ船ノ平均ガ幾ラ、斯ウ云フコトヲ承ツテ置キタイ

○政府委員(内田嘉吉君) 唯今ノ御尋ハ了解致シマシテゴザイマス、其各年齡ニ應ジマシテノ調査ハ唯今此所ヘ持ッテ居リマセヌ、併ナガラ大體カラ見マシテ仰セノゴザイマス、年齡ノ加ハルニ從ヒマシテ其價格ハ自然少ナクナッテ來ルト云フコトハ、是ハ事實デアラウト考ヘマス

○山本悌二郎君 サウスルト非常ニ高イモノニナッテ、其船ガ三割以上ニ付クト云フコトニナルト、禁止スル結果ニナリハセヌカ

○政府委員(内田嘉吉君) 御答ヲ致シマス、年齡ニ應ジマシテ古クナレバ古クナル程安クナルト云フコトハ、是ハ原則デアリマス、中古船、大古船ノ如キ年齡ノ加ッテ船ニ向ッテハ今度ノ噸數ニ應ジテ稅額ガ割合ニ高クナルト云フコトハ、是ハ事實デアラウト考ヘマス、併ナガラ船ノ價值ト云フモノハヤハリ年齡ニ應ズルデアリマス、之ヲ若シ比較的良イ船ヲ入レタイト云フコトニナリマス、此率ヲ年齡ノ相違程ニ下ケテ行クト、ヤハリ古イ船ハ餘計ニ入ルコトニナル、結局日本ノ船舶ヲ改良セラレ見込ガナイト云フコトニ著歸シヤシナイカト考ヘマス、其趣意カラ申シマシテ、極ク古イ船ハ割合ニ入ラヌト云フコトニナルカ知レマセヌガ、唯今仰セニナリマシタ中古船ハ關稅率ニ於テ強イテ失當ナコトハナカラウト思ヒマス

○山本悌二郎君 ソコデ數字ヲ伺ヒタイ

○政府委員(内田嘉吉君) 後デ差上ゲマス

○委員(野田卯太郎君) 村上君、海軍次官ガ御待ニナッテ居ルカラ一通リ質問シタ宜カラウ

○村上先君 ソレデハ繰返シテ申シマス、要領ハツマリ此度ノ改正關稅案ニ依リマスルト、陸海軍ガ有事ノ日ニ於テ最モ必要トスル運送船ノ古イ船ノ輸入ガ殆ド杜絶スルデアラウ、サウ云フコトニナリマシテモ、此軍事上ノ關係ニ於テ御不都合ハゴザイマセヌカ、斯ウ云フデアリマス

○政府委員(財部彪君) 今ノ御問ニ御答ヘ致シマス、軍事上カラ申シマスレバ今ノ御話ノヤウニ古イ船ガ杜絶シマシテモ、全體ノ船ノ數ガ殖エサヘスレバ少シモ差支ナイノデアリマス、併ナガラ今日ノ現在ノ數ニ於テハドウカト云フ御尋デアレバ、ソレハ又多大ナ不足ガアルノデアリマス、此多大ナル不足ガアルト云フコトハ陸海軍ノ共同大作戰ノ上カラ申シタ話デアリマシテ、之ヲ又分ケテ申シマスレバ海軍ノ方ニ於テハ差シテ不足ハゴザイマセヌノミナラズ、海外ノ方ニ於テハ外國カラ買入レテ輸入致シマスヤウナ、サウ云フ古イ船ハ殆ド必要ガナイノデアリマシテ、海軍ノ望ムトコロハ新シキ上ニモ新シキモノデナケレバ補助船舶トナルベキモノハ勿論、又戰時ニ海軍ノ輸送ノ石炭、或ハ彈藥ト云フヤウナモノヲ輸送致シマス、トコロノ目的ニ從フコトノ船ヲ於テモ古イモノデハ面白クナイノデアリマス、ソレデ全體ニ於テ海軍ト云フモノハ點カラ申シマスレバ古イ船ノ輸入ノ止マルコトハ痛痒ヲ感ゼザルノミナラズ大變喜ブトコロデゴザイマス、戰時ニ商船ノ保護ト云フ點カラ申シマシテモ古イ船ガ少ナクナルノハ大變都合ガ宜シウゴザイマス、次ニ陸海軍共同ノ作戰上カラ申シマス、是ハ最モ運送船ノ數ハ今ノトコロデハ足ラヌノデアリマス、或ル程度迄ハ

シノ殖エテ往キマセヌト有事ノ日ニハ困ララウト思ヒマス、併ナガラ全然此關稅改正ノタメニ外國カラ船ノ買入ガ止ッテシマフノデナケレバ、且又戰時ニ於テ大ナル利益ガ前ニ横ッテ居ル場合ニ當テハ全然止ッテシマフコトモナカラウト云フ見込デアリマス、サシテ不都合ハナイト思ヒマス、此段御答致シマス

○村上先君 唯今ノ政府委員ノ御答辯ニ依ルト新シイ船ヲ望ムノハ政府委員ノミナラズ、日本國民全體ハ新シイ船ヲ希望スル、併ナガラ新シイ船ハ高イノデアリマス、新シイ船ヲ希望シテモ到底ソレヲ買フコトガ出來ナイト云フコトハ現在ニ於ケル日本ノ經濟上ノ狀態デアリマス、ソレデ古イ輸入ノ船ガ古イト云フト何カ老朽用ニ立タヌヤウニ聞エマスガ決シテサウデナイ、其證據ニハ三十七八年戰役ノ際ニ隨分澤山ナ

古イ貨物船ガ入ッテ居ル、是等ノ點カラ見テモヤハリ有事ノ日ニ於テハ此古イ貨物船ガ軍事上ニ餘程關係ヲ持ッテ居ルモノデアルカラ、十分ニ有事ノ際ニ於テハ軍事禁制品等ノ關係ガアッテ容易ニ此ノ船ノ輸入ガ出來ナクナル、故ニ今ノ如ク今度ノ改正案ノ如ク高率ノ關稅ヲ課シマスルコト其際ニ於テ甚ダ船舶ヲ得ルニ困難ヲヤシナイカト云フ、斯ウ云フ點ニ付テ伺ヒマス、只今ノ御答辯ハ要スルニ海軍ガ御答辯アル、願クハ陸海軍ヲ併セテ軍事上ニ付テ船舶ノ關係ヲドウカ關稅委員長タル外務大臣デモ宜シウゴザイマス、カ御說明ヲ願ヒタイ

○政府委員(財部彪君) 今私ハ陸海軍ノ雙方共同ノ戰ニ付テノ上カラ申シタ積リデアリマス

○山本悌二郎君 私モ更ニ御尋ヲ致シタウゴザイマス、今日ノ新關稅ヲ施行スルコトニナリマス、私共只今マテイロノ開イテ居ル、又數字ニ基イテ勘定シテ見ルトドウシテモ十年以上位ノ中古ノ船ノ輸入ガ止ッテシマハナイヤウニ考ヘル、所ガ陸海軍ノ方デハ此中古船ノ輸入ハ全然止ッテモ差支ハナイ、要スルニ新シイ船ガ欲シノデアルカラ中古船ノ輸入ガ止マレバ即チ内地ニ於テ製造スルカ、若クハ新シイ船ガ外國カラ輸入サレルカラ一向差支ナイ、斯ウ云フ考ヘデアルヤ否ヤ、私共ノ考デハ餘程違フト思フ、中古船ガ多ク輸入サレテ居ルノハ其船價ガ廉クテ從ッテ海運業者モ運賃ヲ廉クスルコトガ出來ルタメニ此船ガ輸入サレテ居リマス、是ガ非常ニ高率ヲ課セラルレバ無論中古船ハ輸入スルコトガ出來ナイ、サウシテ新シイ船ヲ新造スルト云フノガ日本ノ造船力カラ云フテモ咄嗟ノ間ニハ出來ナイ、外國カラ新造船ヲ輸入スルコトニナルト價が高クテ引合ハヌ、一方ニ於テ中古船ノ輸入ガ止マレバソレト同時ニ日本ノ船數ハ餘リ増加スルコトガ出來ナイモノト覺悟シナケレバナラヌ、ソレデ宜シイカ否カト云フコトヲ御尋ネ致シマス

○政府委員(財部彪君) 唯今ノ御話ニ依レバ此案ノ如ク關稅ガ極リマスレバ中古船ハ殆ド輸入ガ止ッテシマフ、然ル時ハ全體ニ於テ船ノ數ガ大變減シテ來ルト云フコトヲ斷定シテ御話デアリマスガ、サウ云フモノカ、サウ云フモノデナイカト云フコトハ私ノ領分外ト思ヒマス、彼是申スニ及バヌト思ヒマスガ、果シテサウ云フコトニナルモノトスレバ軍事上ニ於テハ少ナカラ影響ヲ受クルダラウト考ヘマス、ソレデ船ハ多數アリマセヌケレバ軍事上カラ有事ノ日ニ當リマシテ、軍事上ニ於テハ餘程困ルト云フコトヲ明言致シマス、ソレカラ又日本ノ造船力ハ其中古船ノ輸入ガ止マレバ、今日日本ノ造船力ニ於テハ船ノ増ス

コトハ餘程ムツカシイ云フ御話アリマスガ、ソレハ私が御答シテモ宜イト思ヒマスガ、私ノ見ルトコロデハ日本ノ今日ノ造船力ハ決シテ其噸數ノ増加ガ出來ヌト云フコトハナ
イト思ヒマス、寧ロ今日又近キ將來ニ於テノ日本ノ造船所アタリノ狀況ヲ見タラバ仕
事ガナクテ困ッテ居ルコトデゴザイマス、ソレデ之ニ十分仕事ヲ與フレバ決シテ造船力ガ足
ラナイト云フコトハナイ見込デアリマス

○山本第二郎君 日本ノ造船力ニ付テノ御話デゴザイマスガ、先刻遞信省ノ政府委
員カラ承リマス、最高能力ヲ發揮スルニハ十萬噸位一箇年ニ製造スルト云フコトデア
リマスガ、ソレヲ割引シテ考ヘテ見テモ事實ノ上カラ申シマスレバ、日本ノ造船所ハ尙此
以上ノ船ヲ増加シテ往ク上ニ付テ十分ニ能力ガアルト信ジマス、只今政府委員ノ御
話ニナッタハ註文ガナイカラ出來ナイ、是ハ何ノタメカト云ヘバ是ガ研究問題アル、ソ
レハ新シイ船ヲ日本ノ造船所ニ註文スルト高イ、海運業者ハ引合ハナイカラ註文シナ
イ、ソコヘ持ッテ來テ中古船ノ輸入ガ出來ヌコトニナル、ソレデモ尙海運業者ハ忍ンデ高イ
造船所ニ註文シテ自分ノ貨物運送ノタメニ使フカト云ヘバソレハ算盤ガ合ハヌカラシテヤ
リハシナイコトニナツテシマフト考ヘラレル、私共ハ日本ノ造船所ガ能力ガナイト云フコトハ
ナイ、經濟的ニ日本デ多クノ船ヲ造ルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、
ソレトモ中古ノ船ガ輸入ガ止マレバ日本ノ造船所ヘソレダケノ船ノ需用ガドン／＼集ッテ
來ル、御見込デアルヤ否ヤ、是ハ陸海軍ノ當事者デナクテモ遞信省ノ方ノ委員デモ宜シ
イ、ドウ云フ御見込デセウカ

○政府委員(内田嘉吉君) 只今ノ御答ヲ申上ゲマス、先程申上ゲマシタヤウニ日本
ノ造船所ニ於キマシテ、力ハアルガ、註文ノ少ナイタメニ其造船ノ力ヲ十分發揮スルニ
至ラヌ、是ハ唯今仰セノゴザイマシタ通りデゴザイマス、而シテ現在日本ニアリマス船ハド
ノ位ナ割合ニナツテ居ルカト云ヘバ、是ハ先程御調査ノ書類ヲ御讀ミナリマシタガ、尙一
應申上ゲマスガ此十年未滿ノ船舶ハ、内國製造ノモノガ二十七萬噸、外國製造ノモノ
ノガ八萬六千噸、十年以上ノモノガ古ノモノ、十五年未滿十五年以上ノ區別ヲシテ
見マスルト、十五年未滿ノ方ノ内國製造ガ三十一萬噸、外國製造ガ二十四萬噸、十
五年以上ノ内國製造船ガ二十七萬噸、外國製造船ガ五十五萬噸、斯ウ云フヤウナ
區別ニ相成ッテ居リマス、今日新シイ船舶ト古イ船舶ト同一ノ課稅ヲ致シテ同ジク從價
トシテ同ジ割合ニ營業稅ヲ取リマス、ドウシテモ古イ廉イ方ノ船舶ヲ餘計輸入スルコトニ
ナリマス、此古イ廉イ船舶ヲ輸入スルコトハ一面ニハ唯價ノ廉イ上カラ申シマス、大層
ノ經濟的デゴザイマスケレドモ造船ノ技術ハ御承知ノ通り日ニ月ニ進歩ヲ致シテ參リマ
スノデ、石炭ノ費用或ハ之ニ要スル人間ノ即チ船員ノ數、ソレカラ安全ヲ圖リマス即チ
種々ノ危險ニ對スル裝置ノ如キ、此ノ如キモノガ日ニ月ニ進ンデ參リマスカラ、單ニ價ガ
廉イ上カラト云ヘバ、古イ船程價ガ廉イニ違ヒアリマセヌ、何故ニ價ガ廉イカト云ヘバ唯
今申上ゲマシタ、新シイ日進月歩ノ技術應用ノ船ガ出來テ參リマスカラ、ソレト競争ス
ルニハドウシテモヤハリ新シイ船デナケレバナラヌ、從ッテ古イ船ヲ廉クテモ賣ッテ、成ルダケ新
イ船ニシタイト云フノガ外國ニ於ケル營業者ノ希望デアリマス、古イ船ハ比較的廉ク賣リ
マスカラ、我邦ハ其廉イダケデ之ヲ買入レマスガ、結果ノ上カラ言ヘバ、ヤハリ古イ船ヲ買

フト云フコトハ只今申上ゲマシタ各種ノ點カラ不利益ノコトニナリマス、從ッテ將來ハ成ル
ベク新シイ船ヲ使ハシテ、本當ニ外國ノ營業者ト競争ノ出來ルヤウニシタイト云フノガ今
回改正ヲ致シマシタ希望ノ一ツデアリマス

○高橋光威君 是ニ必要ナル追加ノ質問ガアリマス、船齡十年以上十五年位ノ貨物
船ハ日本デ造レバ一噸ドレ程出來マスカ、外國船ハ賣買ノ相場ガ四十圓乃至五十
圓ト云フ營業者ノ調べデアリマスガ、是モ略々間違アリマセヌ、而シテ内國製ト外國製ノ
船ヲ日本デ賣買スル其間ノ差ハドノ位デアリマス

○政府委員(内田嘉吉君) 御答申上ゲマス、貨物船ヲ内國ニ於テ造リマスノト外國
ニ於テ造リマスノト、先ヅ新シイモノニ付テ申上ゲマス、從來日本デ貨物船ヲ造船獎
勵法ノ下ニ製造致シマシタ實驗ニ依リマス、平均百六十何圓ト云フコトニ記憶シテ
居リマス、外國デ假ニ同ジ船ヲ造リマス、殊ニ英吉利ガ船價ノ廉イ處デ、此英吉利デ
同ジ船ヲ造ルトシテ計算ヲ取ッテ見マスルト約百二十八圓位ニナリマス、即チ其差額ガ
内地デ造リマスノト外國デ造リマスノト差ニナリマス、ソレカラ此船ハ年齡ヲ加フルニ從ッ
テドレ位ニナルカト申シマスノハ、是ハイロ／＼持主ノ上カラ計算ヲ取リマスノデ一概ニ
申上ゲルコトハ出來マセヌガ、外國カラ賣リマスル船ハ先程申上ゲマシタヤウニ新シイ船
ト競争ヲシテ十分ノ收益ヲ見テ往クタメニ廉クモ賣ッテ成ルダケ新シイ船ト買替ヘルノガ
得策ト云フ上カラ申シマス、一日モ早く古イ船ヲ捌イテシマフト云フコトニ依ッテ多
少相當ノ値段ヨリ廉ク當ルデアラウト思ヒマス、船主ノ經濟カラ申シマスル大體ニ於テ
是ハドコマデモ必ズサウトハ申上兼ネマスガ、大體ニ於テ先年々四歩乃至五歩ヲ減價價
却トシテ減ジテ參リマスカラ、其船ヲヤハリ其割合ニ應ジテ會社ガ減ジマシテ、其以上儲
ガアレバ或ハ賣ルコトニナルカモ知レマセヌ、又十年以上ノ船ガ果シテドノ位アルカト云
フコトハ賣主ノ考ニモ依リマス、又世間一般ノ商賣ノ繁昌ト云フコトニモ關係致シマ
シテ、或ハ廉クナルコトモゴザイマス、或ハ高クナルコトモゴザイマス、是ハ一艘々ノ
價額ニ付テハ調査シテ居リマセヌ、先程ノ御話ニ依リマシテ最近ノ統計ハ調ベテ申上ゲマス

○大久保弁太郎君 唯今委員長ヨリ御報告ニナリマシタ請願ノ儀ニ付テ、私ハ御參
考ノタメニチヨット一言申上ゲタウゴザイマス、委員會ニ御回シナリマシタコロノ目録
ノ第一號ニアッタコロノ人造藍、關稅ニ關スル請願ト申スハ通ハ即チ德島縣ヨリ請願ヲ
セラレマシタモノデ、先日請願委員ニ於テ特別委員會ヘ御參考ノタメニ回スト云フコト
ノ手順ガ出來タノデゴザイマス、所デ其趣旨ハ此藍ノ關稅ガ當改正案デハ一割トナツテ
居リマスガ、内地藍ガ全滅ニ至ルノデ、德島縣ハ藍ノ產地デゴザイマスノデ、非常ニ憂慮
致シマシテ何卒之ヲ詮議セラレテ相當ナル關稅ヲ付セラレントヲ希望スル請願デゴザイマ
シテ、即チ數千名ノ連署ニナツテ居リマス、又三十名ノ德島縣會議員ノ中三木與吉郎
一名ヲ除クノ外二十九名ハ請願ヲシテアリマス、又其外局部局部ノ請願ヲ合セテ五通
ニ相成リ、又大阪府ノ藍ニ關係スル商業人ガ連署シタル人ガ、大阪府ノ菊池侃二氏
ト私トガ紹介ヲシテ差出シテ居リマス、又德島縣ノ方ハ德島縣選出代議士ハ殘ラズ紹
介議員ニ相成ッテ居リマスル次第デ、御參考ノタメニ此事ヲ諸君ニ申上ゲテ是非此事
ハドウカ一ツ御調査ヲ願ヒタイ次第デゴザイマス

○委員長(野田卯太郎君) 尙御報告シマスガ、砂糖政策ニ關スル請願一通、砂糖

消費税法中改正ノ請願五通、是モ請願委員長ノ報告ニ依リ御送付及候也、ト云フ議長カラ報告テ請願書モ同ジテ來テ居リマス——今日ハ是デ本案ノ質問會ヲ終了シタモノトシテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(野田卯太郎君) 此次ハ直グ討論ニ掛ッテ決定シマスカラ、時日ハ公報デ御知ラセ致シマス

○外務大臣(伯爵小村壽太郎君) 是カラ本案ガ本會ノ討議ニ付セラレルニ當リマシテ、一言希望ヲ述ベテ置キマス、御承知ノ如ク我帝國ノ關稅法ガ今回議會ニ提出サレマシテ、我ニ於テ關稅權ヲ全然掌握致シマシテ、何等條約上ノ拘束ヲ受クルコトナク、我國ノ經濟上ノ利害ニ基イテ適宜ニ此稅率ヲ極メルト云フコトニナルノデ、此關稅案ガ提出サレタ譯デゴザイマス、斯カル事情ノ下ニ我帝國ガ關稅ヲ制定スルコトハ今回ガ始メテデゴザイマス、從ツテ是ヨリ此事ハ重大ナル事柄デハゴザイマスルガ、同時ニ又此關稅案ガ成立致シマシテモ是ガ永久不動ノモノデハゴザイマセヌカラ、此際ハ大體ニ於テ此政府ノ案ニ贊同ヲ表セラレテ、成ルベク速ニ御決定ニナランコトヲ一言希望ヲ述ベテ置キマス

○委員長(野田卯太郎君) 是デ散會シマス

午後三時十四分散會

明治四十三年三月一日印刷

明治四十三年三月一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局